施工説明書

INAX

小便器セット

PTK-U506V：100V式
PTK-U506A：アクエナジー式

もくじ

安全に関するご注意 2

標準施工図 4

各部の名称 7

施工前の確認事項・準備・注意 8
（使用工具） 9

部品の確認 10

施工方法 12

1. 墨打ち …… 12

2. 壁・床固定用アンカーの打ち込み…… 13

3.フレームの取付け …… 14

4. 排水管の取付け …… 16

5. 架橋ポリエチレン管の取付け …… 19

6. 巾木、底目地の取付け …… 22

7. 前板の取付け …… 23

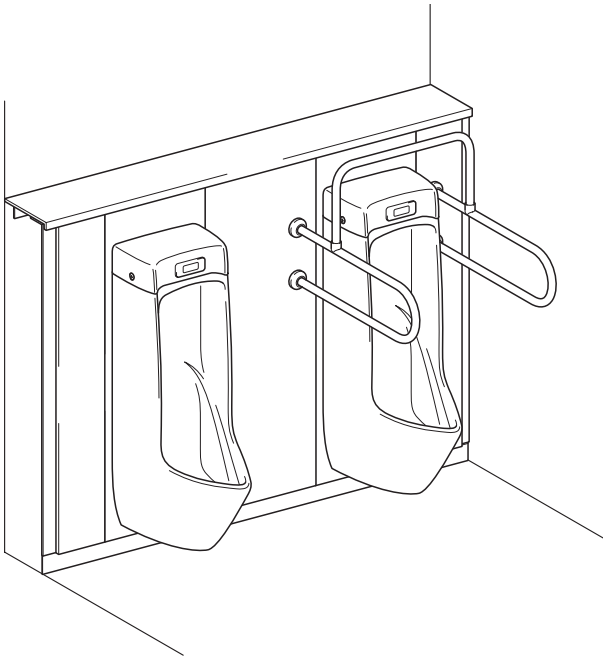
8. 手すりの取付け …… 24

9. 甲板の取付け …… 25

10. 電源接続 …… 26

11. 漏水チェック …… 27

12. 水勢調節・クリーニング …… 27



【図は２連タイプで手すり付タイプを設置した場合】

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
●施工後は必ず正常に作動することをご確認ください。
●お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。

商品の技術的なお問い合わせは （株）INAX「お客さま相談センター」商品相談窓口へ

ナビダイヤル TEL. 0570-017173 受付時間 平日 9:00～19:00
FAX. 0570-017178 土日・祝日 10:00～18:00 （年末年始・夏季休暇は除く）

※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。TEL 0562-31-0793 FAX 0562-31-0797 をご利用ください。

安全に関するご注意

安全のために守ってください！

小便器セットを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

（用語および記号の説明）

警告 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・・ この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。

・・・・・ この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。

⚠警告	
交流 100V 以外の電源は使用しないでください。電気工事は必ず有資格者が行い、D 種接地工事を行ってください。また漏電遮断器を設置してください。 **※火災や感電、故障などの原因になります。**	
ぬれた手でVVFケーブル棒端子、ジョイントボックスなどに触らないでください。またこれらに水をかけないでください。 **※火災や感電、故障の原因になります。**	
取付壁面・床について、所定の強度があることをご確認ください。また、フレームの固定はゆるみのないようにしてください。 **※機器が倒れ、ケガをする恐れがあります。**	
屋外や浴室、シャワールームなどの湿気の多いところには設置しないでください。 **※火災や感電、故障の原因になります。**	
地方条例に基づく飲料水以外の自家製井戸水や温泉水などは使用しないでください。 **※機械の内部腐食により、感電や火災が発生したり、水質による皮膚炎などの原因になります。**	

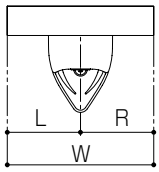
安全に関するご注意

⚠注意	
給排水管の接続は確実に行ってください。接続には配管用シールテープやヘルメシールなどのシール材を必ず使用してください。 **※漏水により室内浸水の原因になります。**	
施工後の漏水点検を必ず行ってください。 **※漏水の原因になります。**	
陶器は割れものです。 ●施工前に輸送中の破損がないことを確認してください。 ●施工後に施工段階での破損がないことを確認してください。 **※破損部でケガをしたり、漏水の原因になります。**	
施工の際は長そで、安全メガネ、革手袋などの保護具をご使用ください。 **※鉄板切断部やビスの先端、ドリルの切り屑などでケガをする恐れがあります。**	

標準施工図

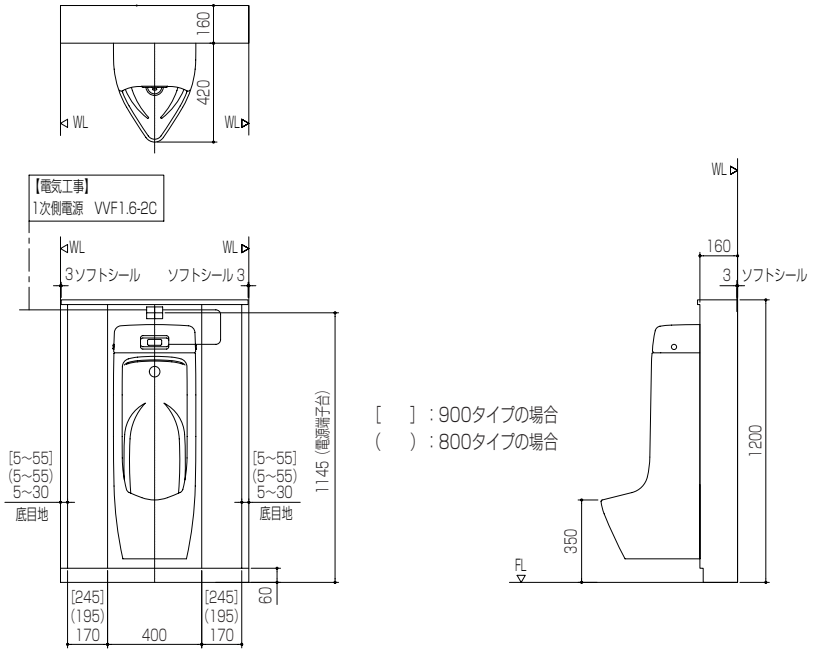
■標準施工図

【1連】

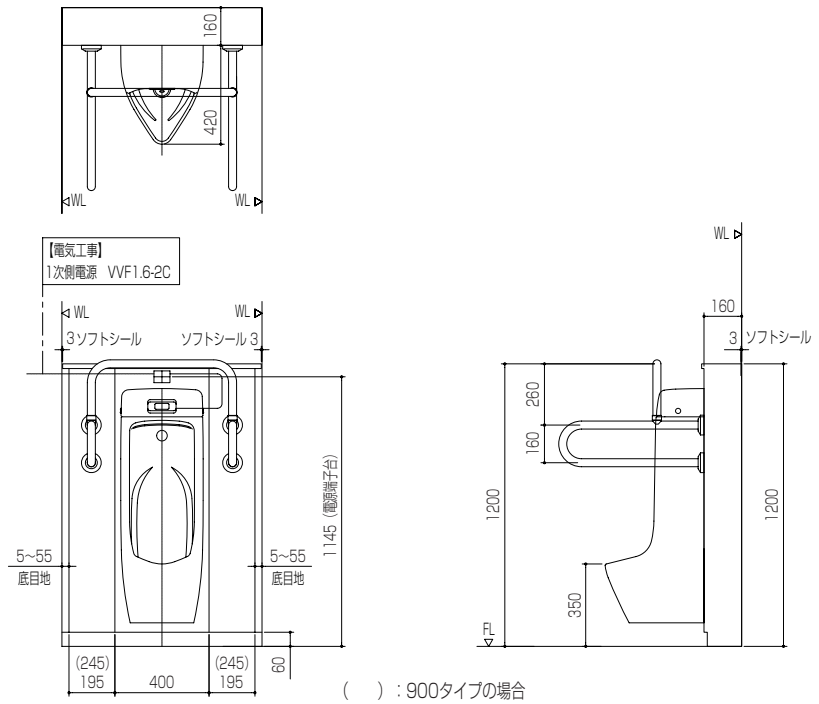


L・R：器具芯～壁

連数	【セット品番】	対応間口 (W)	L・R：器具芯～壁 MIN-標準-MAX	奥行寸法	備考
1	PTK-U506(750)	750～800	375～400	160mm	――
	PTK-U506(800)	800～900	400-425-450		手すり対応可能
	PTK-U506(900)	900～1000	450-475-500		

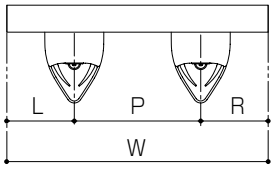


（手すり付）



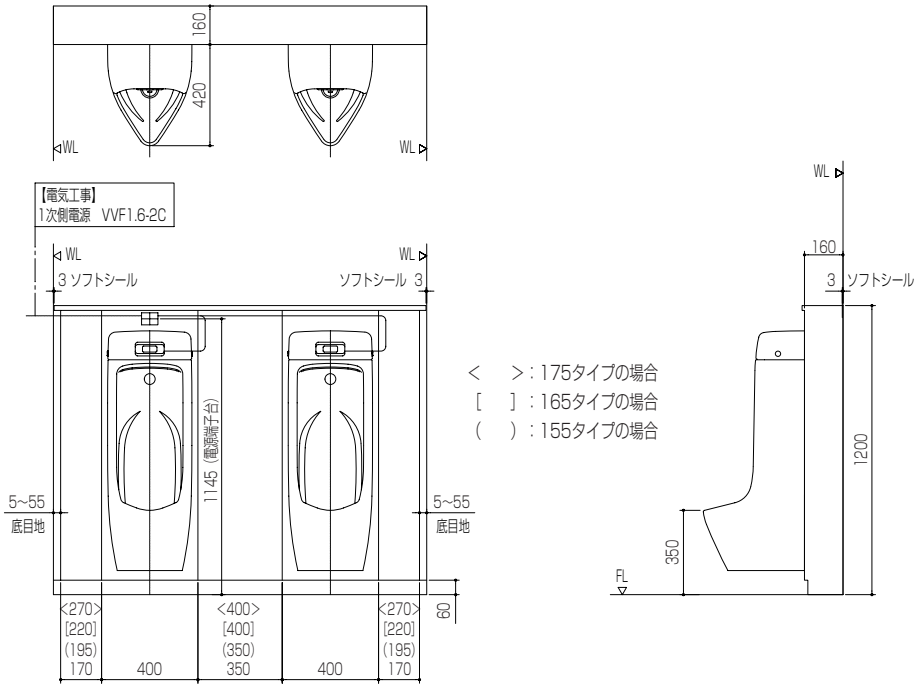
標準施工図

【2連】

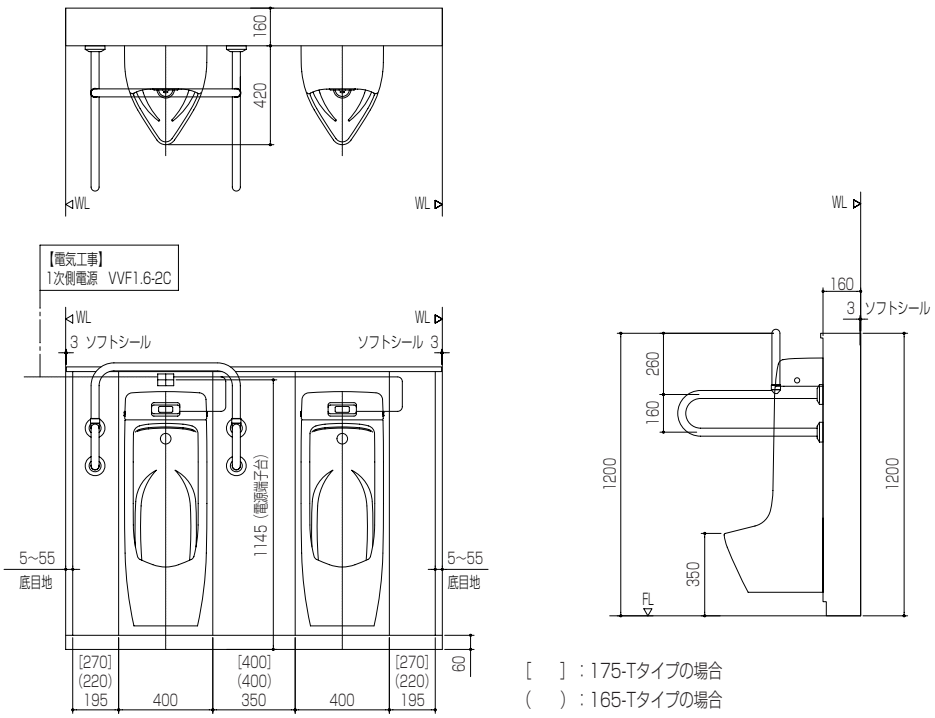


L・R：器具芯～壁　　P：器具間ピッチ

連数	【セット品番】	対応間口 (W)	L・R：器具芯～壁	P：器具間ピッチ	奥行寸法	備考
			MIN-標準-MAX	MIN-標準-MAX		
2	PTK-U506(150)	1500-1600	375-400-425	750	160mm	――
	PTK-U506(155)	1550-1650	400-425-450	750		手すり対応可能
	PTK-U506(165)	1650-1750	425-450-475	800		
	PTK-U506(175)	1750-1800	475-500-525	800		

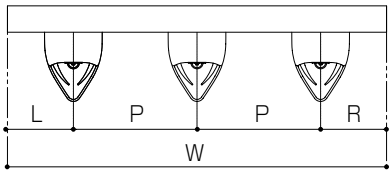


（手すり付）



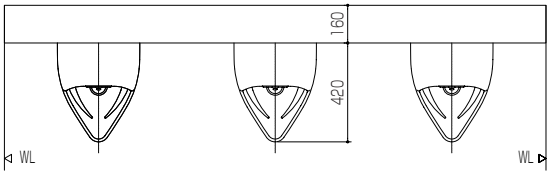
標準施工図

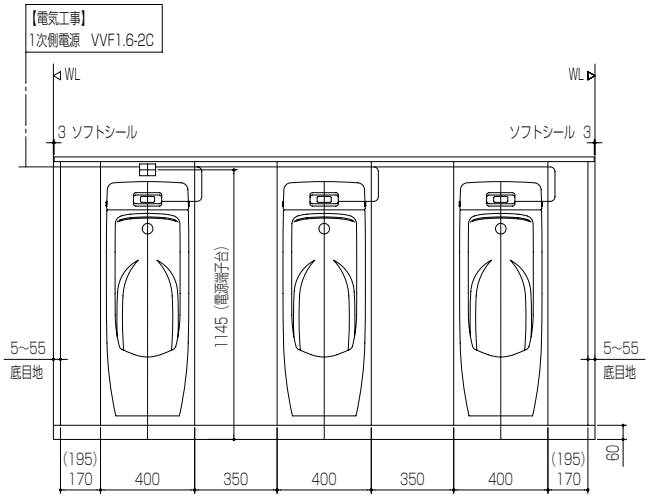
【3連】

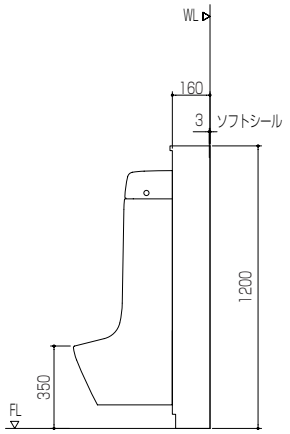


L・R：器具芯～壁　　P：器具間ピッチ

連数	【セット品番】	対応間口 (W)	L・R：器具芯～壁 MIN-標準-MAX	P：器具間ピッチ MIN-標準-MAX	奥行寸法	備考
3	PTK-U506(225)	2250-2350	375-400-425	750	160mm	―
	PTK-U506(230)	2300-2400	400-425-450	750		手すり対応可能

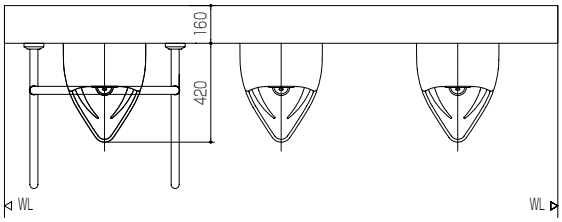


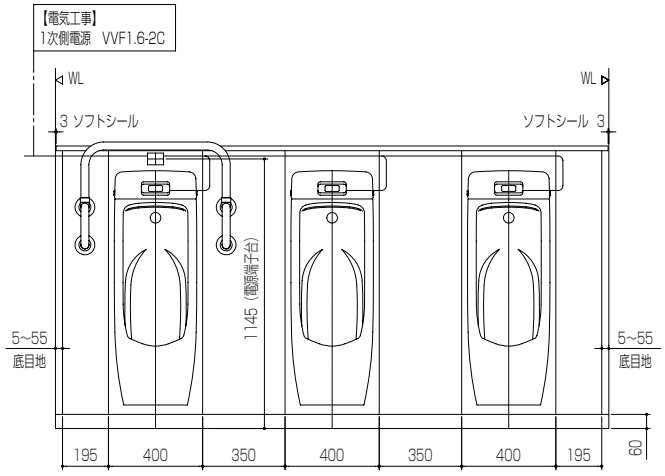


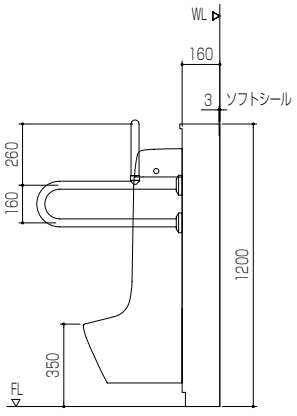


(　) : 230タイプの場合

（手すり付）

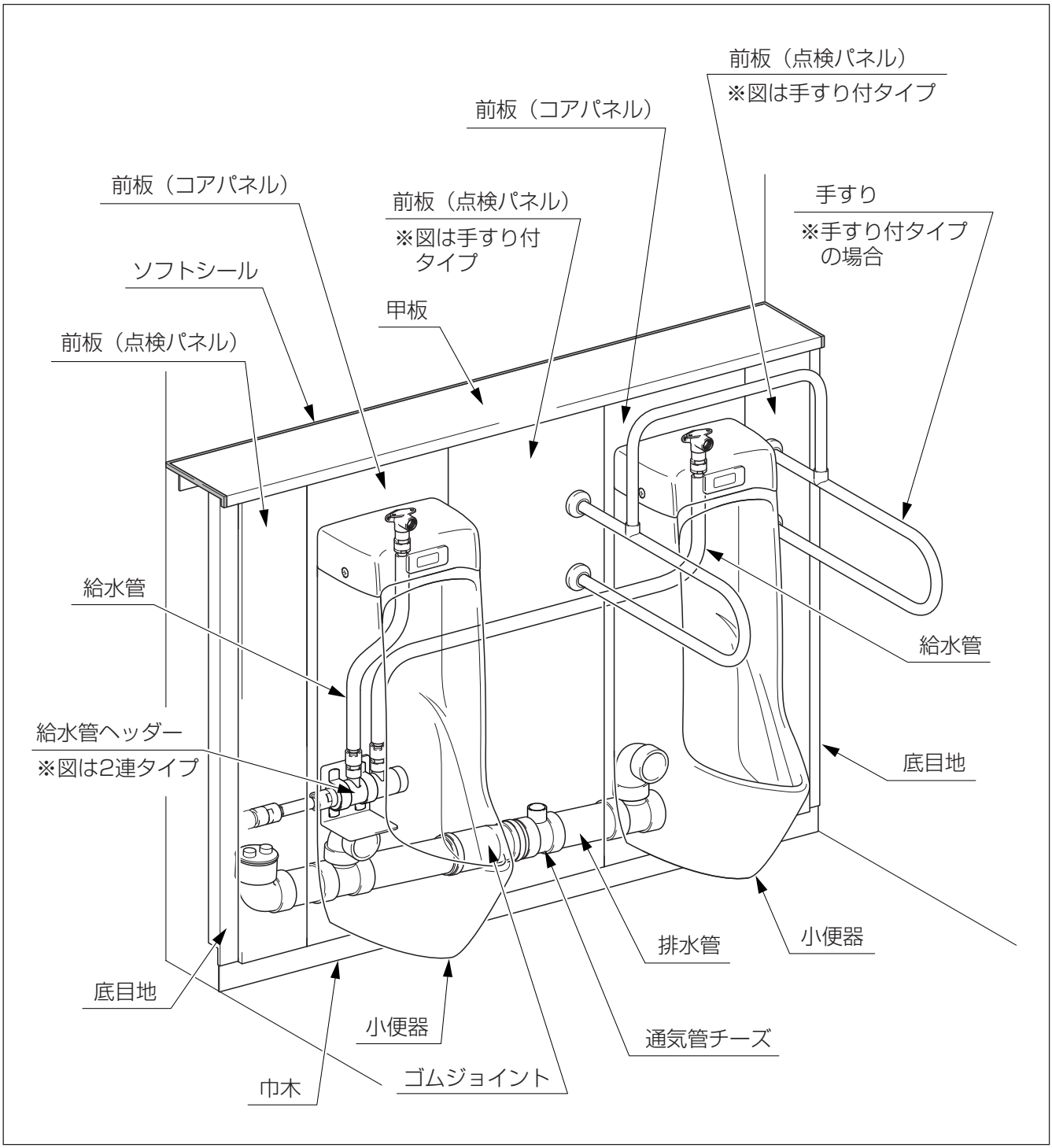






各部の名称

■各部の名称　（図は2連セット、手すり付仕様の図です。）



施工前の確認事項・準備・注意

1．取付壁面について

●取付壁に十分な強度があること。

- コンクリート壁→アンカー固定が可能であること。（コンクリート強度：圧縮強度 2.06 × 10^3N/cm^2 以上）
- LGS 下地　WS-65　ピッチ 455mm 以下
- その他の壁→上記と同等以上の強度を有するもの。

- コンクリート壁→製品にグリップアンカーを同梱しています。
- その他の壁→施工部材を別途現場でご用意ください。

●仕上済の壁・床に墨を打つ場合は、後で消せるようにチョーク墨などをご使用ください。

2．床について

●アンカー固定が可能であること。（コンクリート強度：圧縮強度 2.06 × 10^3N/cm^2 以上）

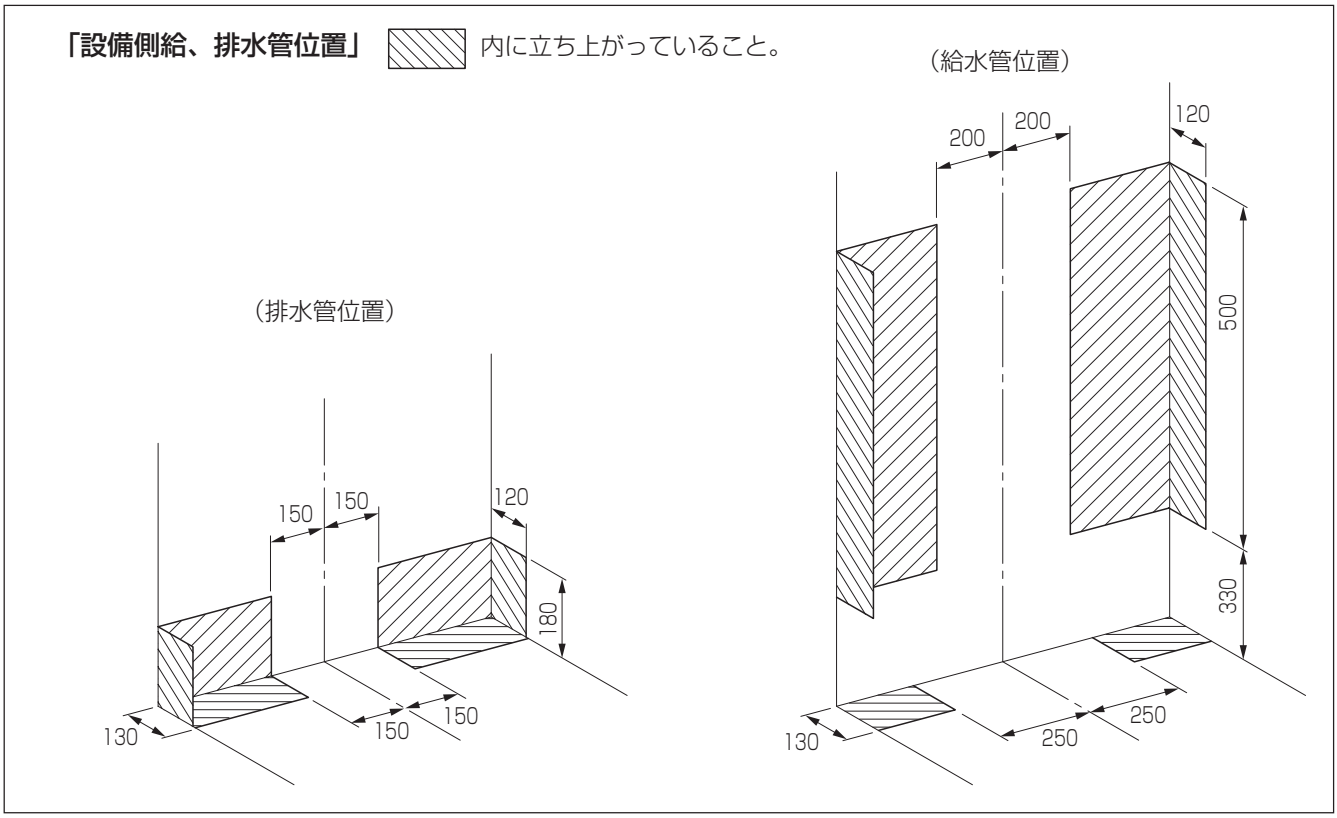
●鉄筋コンクリートかぶり厚 35mm 以上。

●出幅木は商品と干渉します。

※建築施工業者様とお打ち合わせください。

3．給排水について

●図の位置に立ち上がっていることを確認してください。



●製品との接続は異種金属接続用継手を使用すること。

※赤水が発生したり、漏水する恐れがあります。

●給水は必ず上水道に接続すること。

指示実行

4．使用工具、副資材

●一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具、部材をご用意ください。

- 振動ドリル
- ダストポンプ（アンカー下穴用）
- ドリル刃：コンクリート用φ 12mm，8.5mm
- 充電ドライバー
- 電気ドリル刃：鉄板用
  ※電気ドリル刃のサイズは使用するビスの径に適合するものを用意してください。
- モンキーレンチまたはレンチセット（ナット締め用）
- 水平器（フレーム設置調節用）
- ショートドライバー（＋）（－）
- ハンマー、アンカー打込棒（アンカー打込用）
- ジグソーまたは丸のこ（ジグソーブレード：鉄工用）（甲板切断用）
- 金切はさみ：圧延鋼鈑用（垂直切り式、板厚 0.8mm 以上切断可能なもの）（巾木切断用）
- 樹脂管カッター（径 32 以上）
- 取付壁面に応じたビス、アンカーなど（フレーム固定用、サドルバンド固定用）

部品の確認

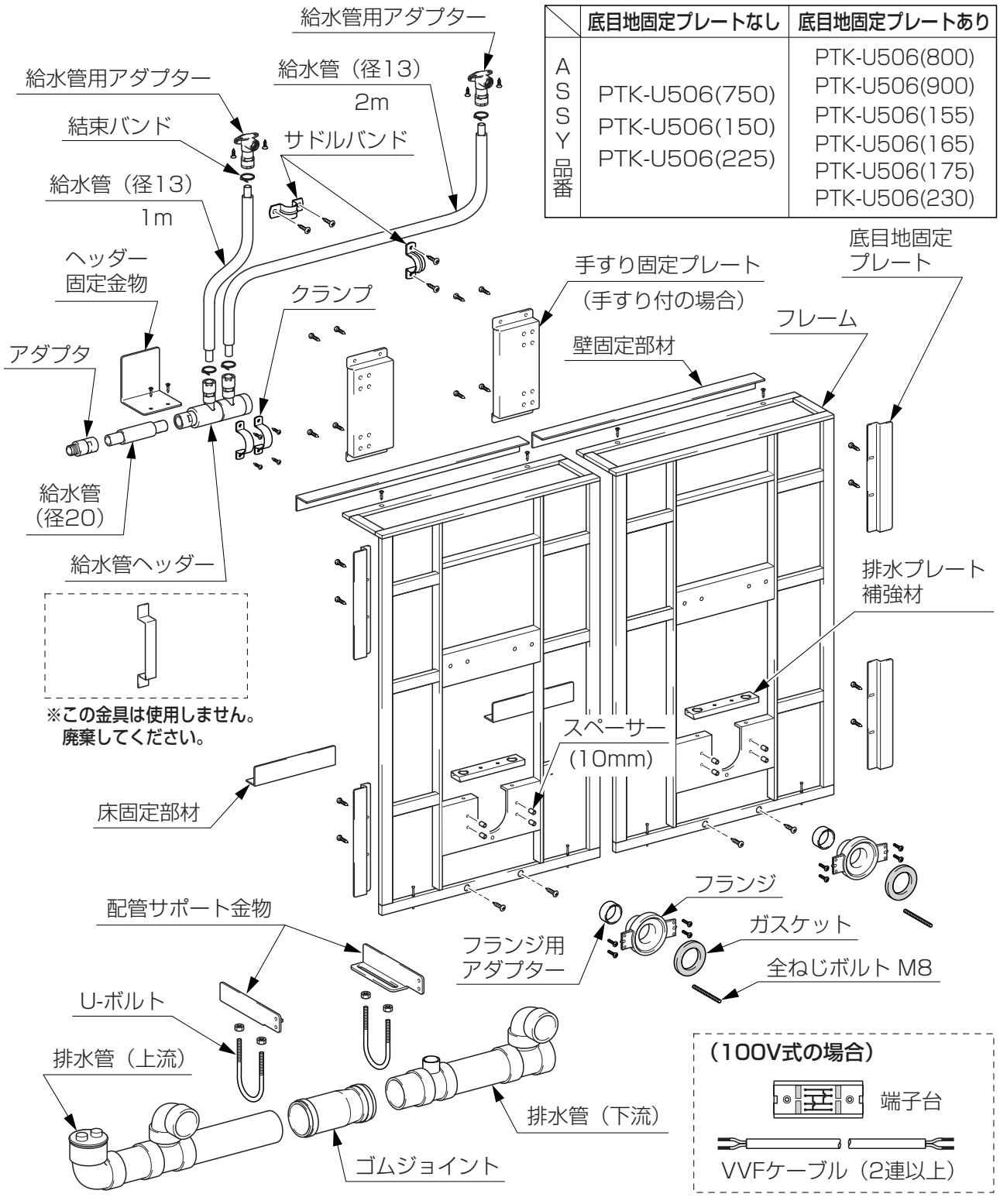
（図はPTK-U506　2連セットを示しています）

【フレーム、配管類】

●同梱部材

・面ファスナー　24個　・前板固定金具　12個　・両面テープ　2巻　・十字穴付きM6六角ボルト　8本
・M6ワッシャー、スプリングワッシャー　8式　・芯棒打込み式アンカー　4本　・グリップアンカー　4本
・六角ボルト　全ねじM8×L80　6本　・ワッシャーM8　6個　・ナットM8　6個
・十字穴付きタッピングねじ　40本　・ドリルねじ　20本　・スペーサー　12個　・圧着端子　2式

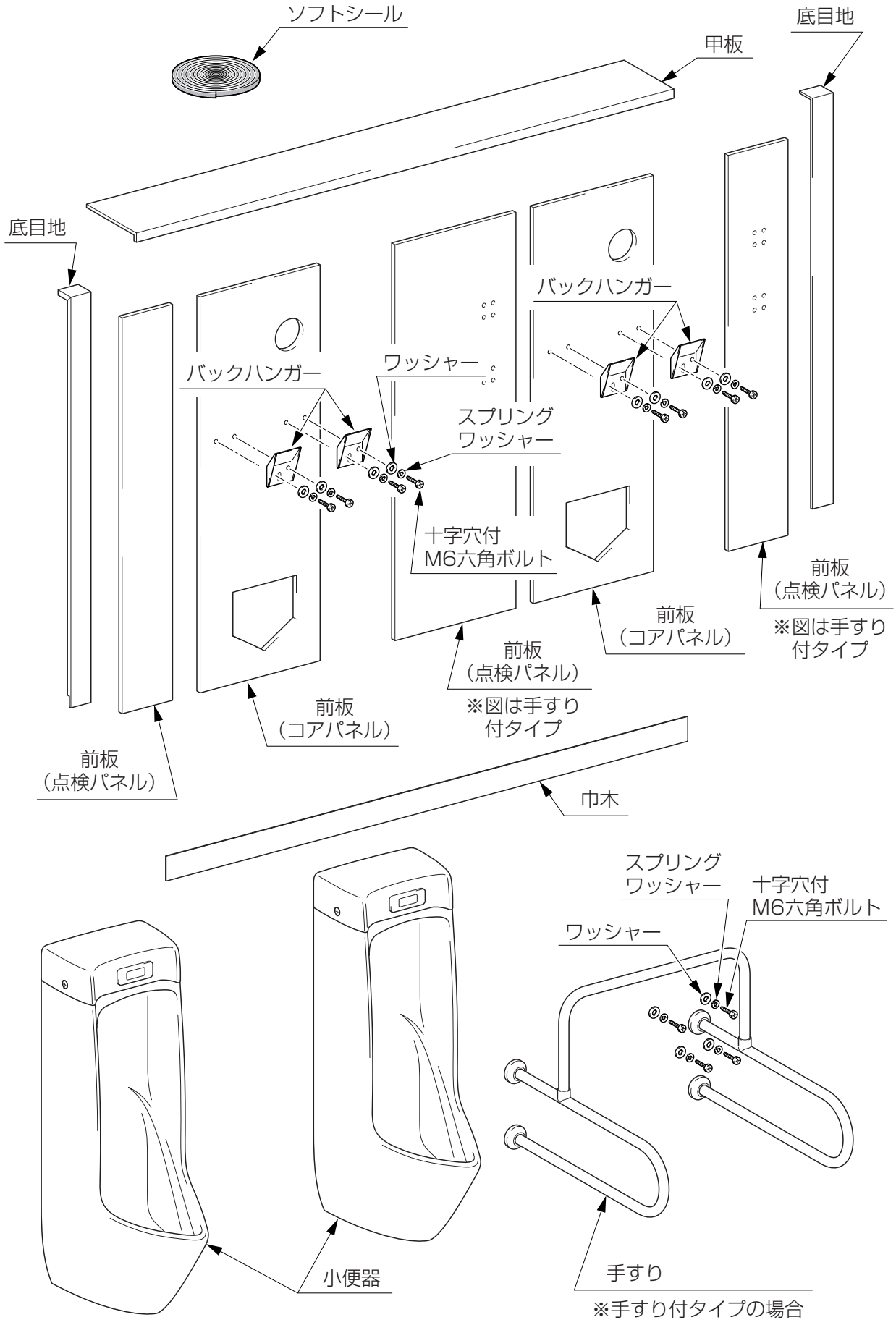
	底目地固定プレートなし	底目地固定プレートあり
ASSY品番	PTK-U506(750) PTK-U506(150) PTK-U506(225)	PTK-U506(800) PTK-U506(900) PTK-U506(155) PTK-U506(165) PTK-U506(175) PTK-U506(230)



注意　※梱包箱のシールに、3連の場合は「上」、「中」、「下」と、2連の場合は「上」、「下」と表示してあります。
※「上」：排水管上流、「中」：排水管中流、「下」：排水管下流を表します。間違わないように施工してください。

部品の確認

【仕上材】


ソフトシール
甲板
底目地
底目地
バックハンガー
ワッシャー
バックハンガー
スプリング
ワッシャー
十字穴付
M6六角ボルト
前板
（点検パネル）
※図は手すり
付タイプ
前板
（コアパネル）
前板
（点検パネル）
※図は手すり
付タイプ
前板
（コアパネル）
前板
（点検パネル）
巾木
スプリング
ワッシャー
十字穴付
M6六角ボルト
ワッシャー
小便器
手すり
※手すり付タイプの場合

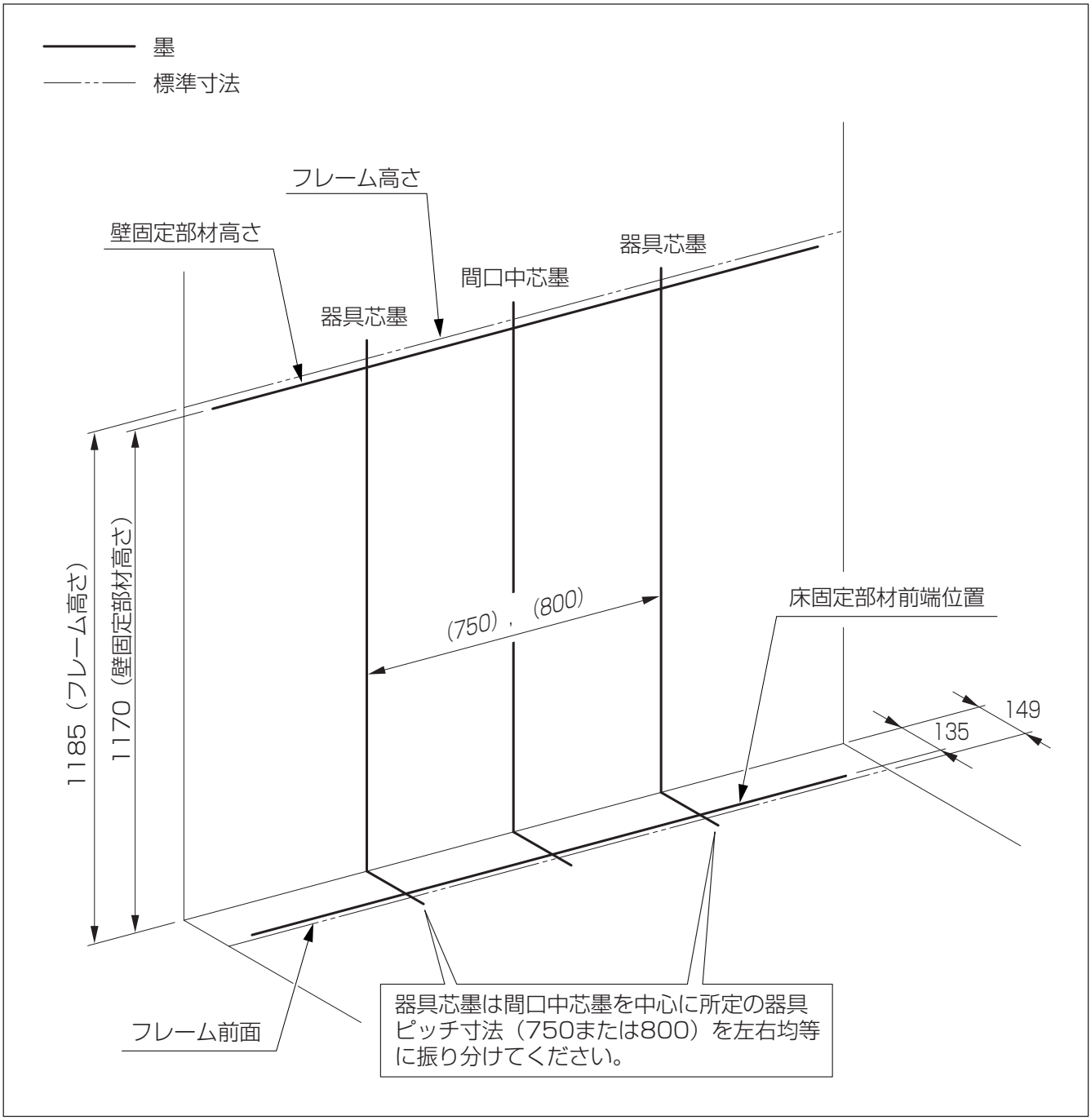
施工方法

以下、施工内容は「2 連タイプ」にて記載しています。特に表記のない場合「1 連タイプ」および「3 連タイプ」の施工は図面を参照して「2 連タイプ」にならって行ってください。

1．墨打ち

図の位置に墨打ちを行ってください。

※仕上済の壁・床に墨を打つ場合は後で消せるようにチョーク墨などをご使用ください。 **注意**



2．壁（コンクリート壁の場合）・床固定用アンカーの打ち込み

【壁側】

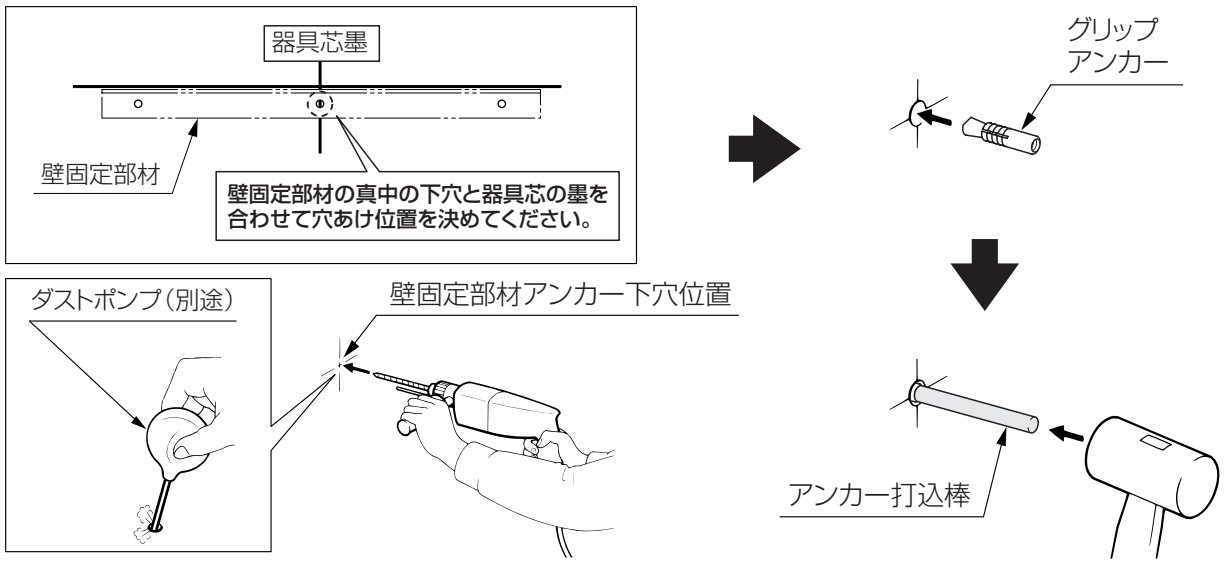
本商品は、コンクリート壁用のグリップアンカーを同梱しています。その他の壁の場合は、取付壁面に適したビス、アンカーを別途用意してください。

（1）壁固定部材の下穴に合わせて、振動ドリルφ12にて仕上厚+40mmの深さの穴をあけます。

※ダストポンプを使用し、下穴内の切り屑を必ず除去してください。
十分な固定強度が確保できず、ユニットが倒れケガをする恐れがあります。

指示実行

（2）グリップアンカーを下穴に挿入し、アンカー打込棒で打込みます。



【床側】

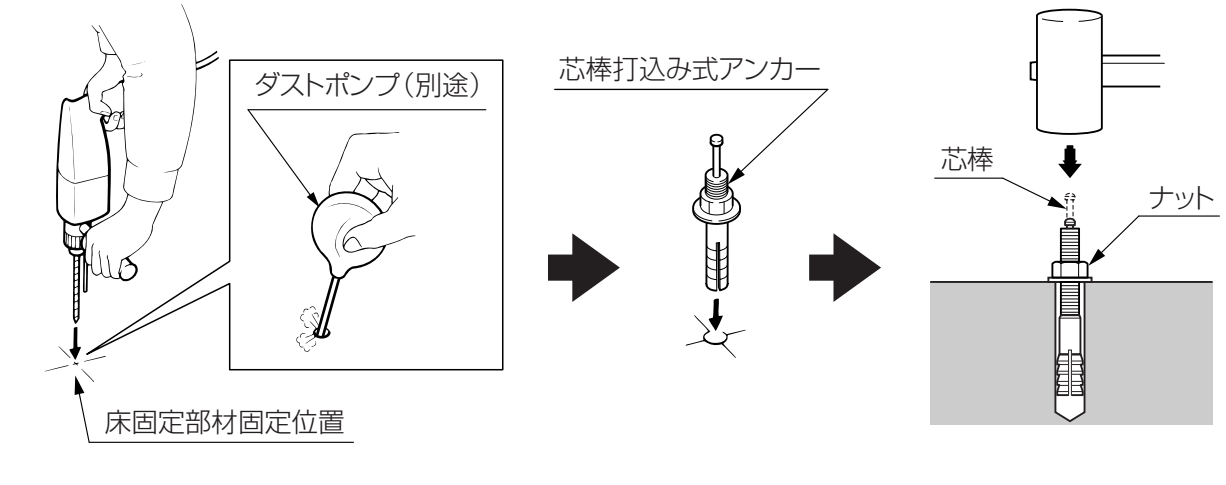
（1）床固定部材固定位置に合わせて、振動ドリルφ8.5にて仕上厚+30mmの深さの穴をあけます。

※ダストポンプを使用し、下穴内の切り屑を必ず除去してください。
十分な固定強度が確保できず、ユニットが倒れケガをする恐れがあります。

指示実行

（2）ナットをねじ込んだ状態で、芯棒打込み式アンカーを下穴に挿入し、芯棒が本体の頂部に接するまでハンマーで打込みます。

（3）ナットを取り外します。

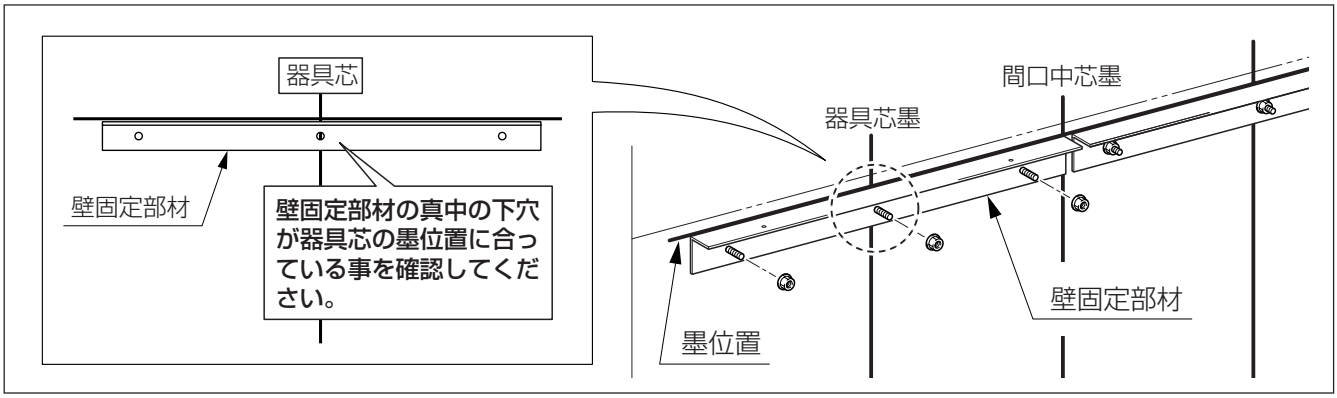


3．フレームの取付け

1、壁固定部材の取付け

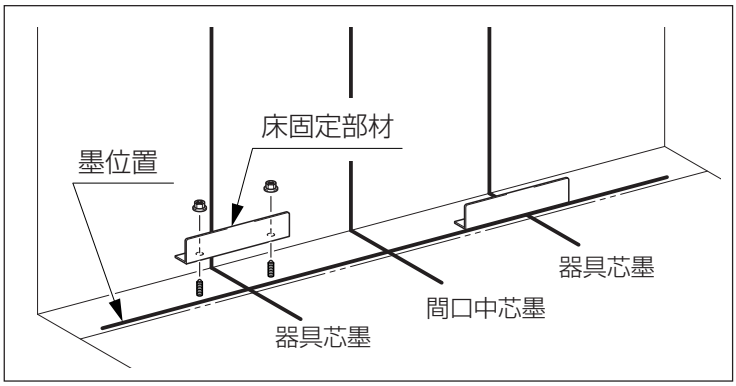
墨位置にしたがい、壁にフレーム固定用の壁固定部材を取り付けます。

※ビス固定の場合は壁固定部材にビス径に適合した下穴をあけてください。



2、床固定部材の取付け

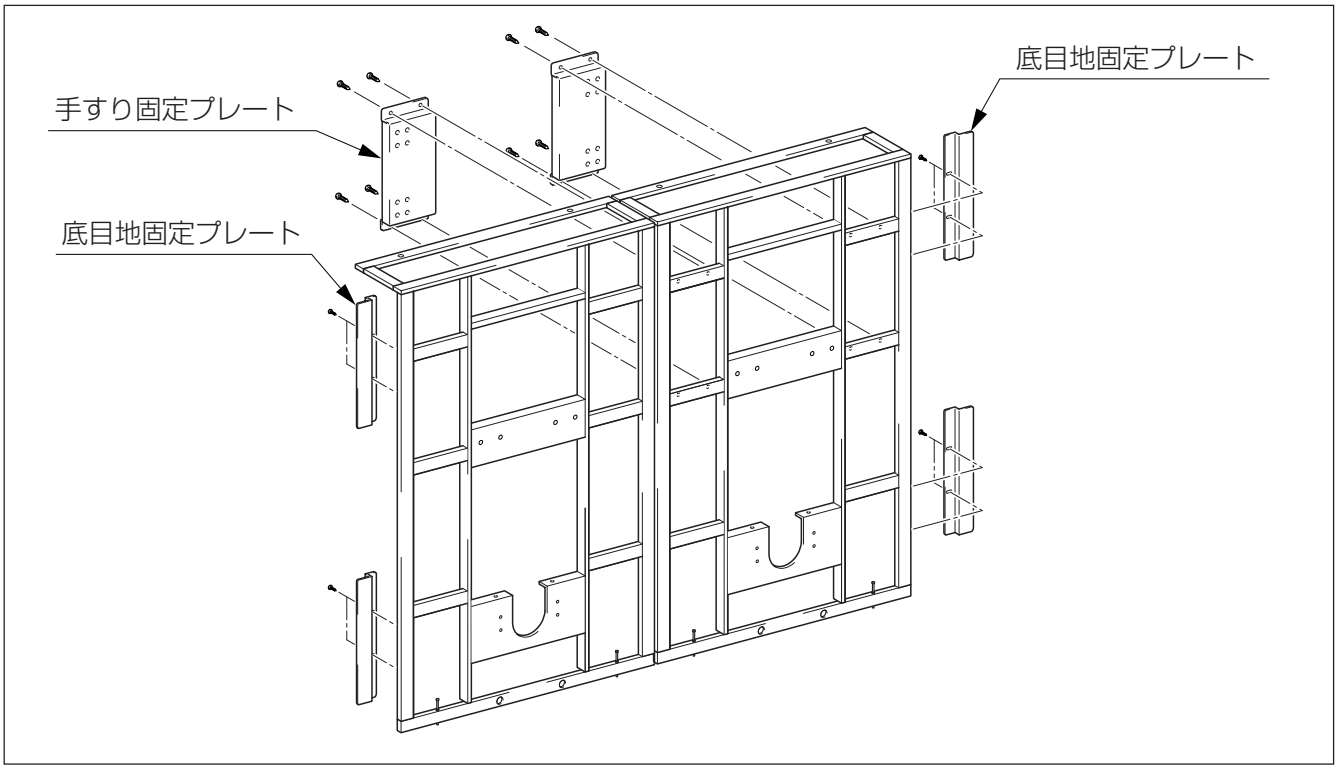
墨位置に合わせて、床固定部材をアンカーで床に固定します。



3、底目地プレート、手すり固定プレートの取付け

底目地固定プレートおよび手すり固定プレートが付く場合は、フレームの下穴に合わせて所定の位置に付属のタッピングねじで取り付けます。

※手すり固定プレートは図の向きで取り付けてください。



施工方法

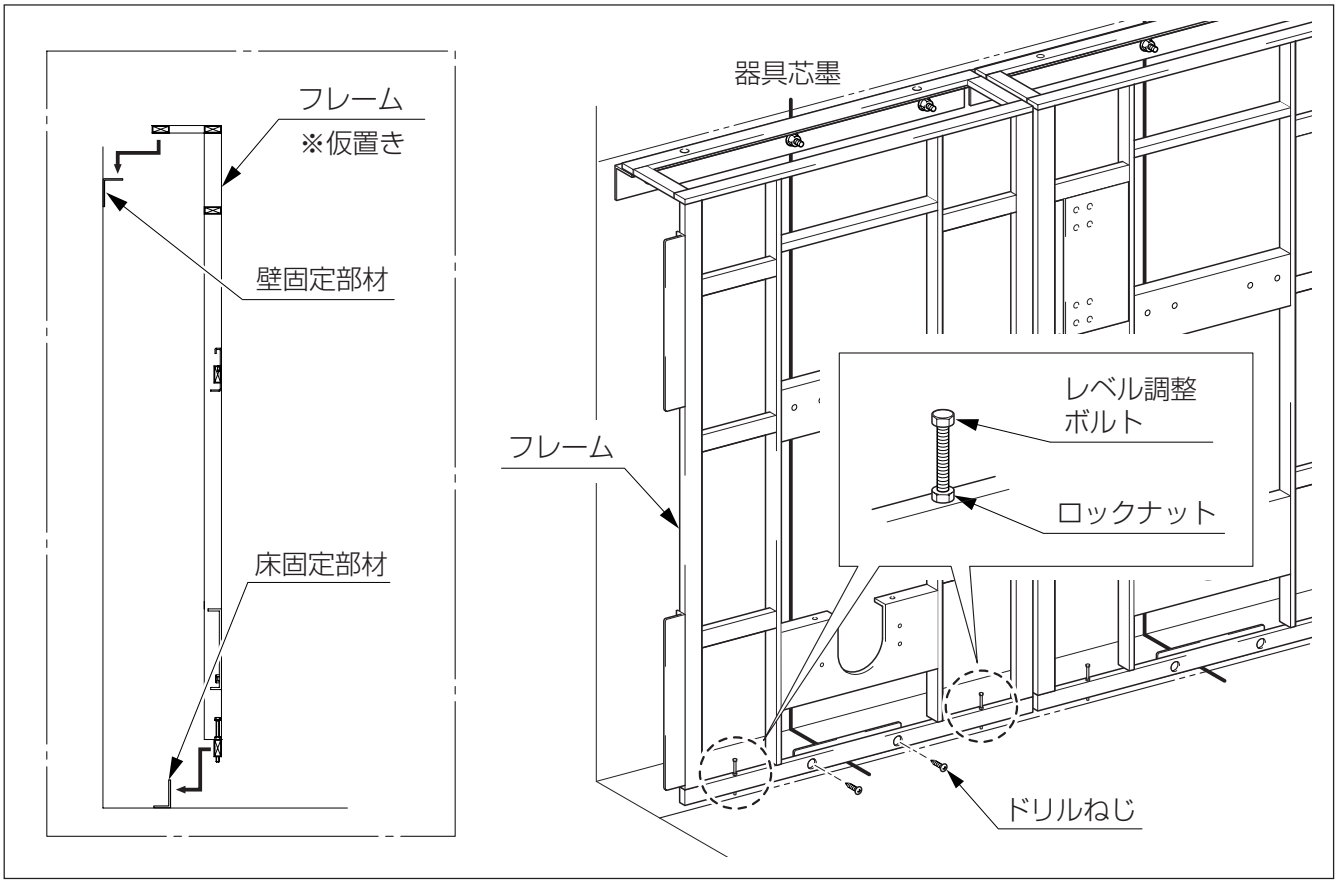
4、フレームの取付け

（1）フレームを壁固定部材および床固定部材に合わせて仮置きします。

（2）レベル調整ボルトでフレームの高さを調節します。

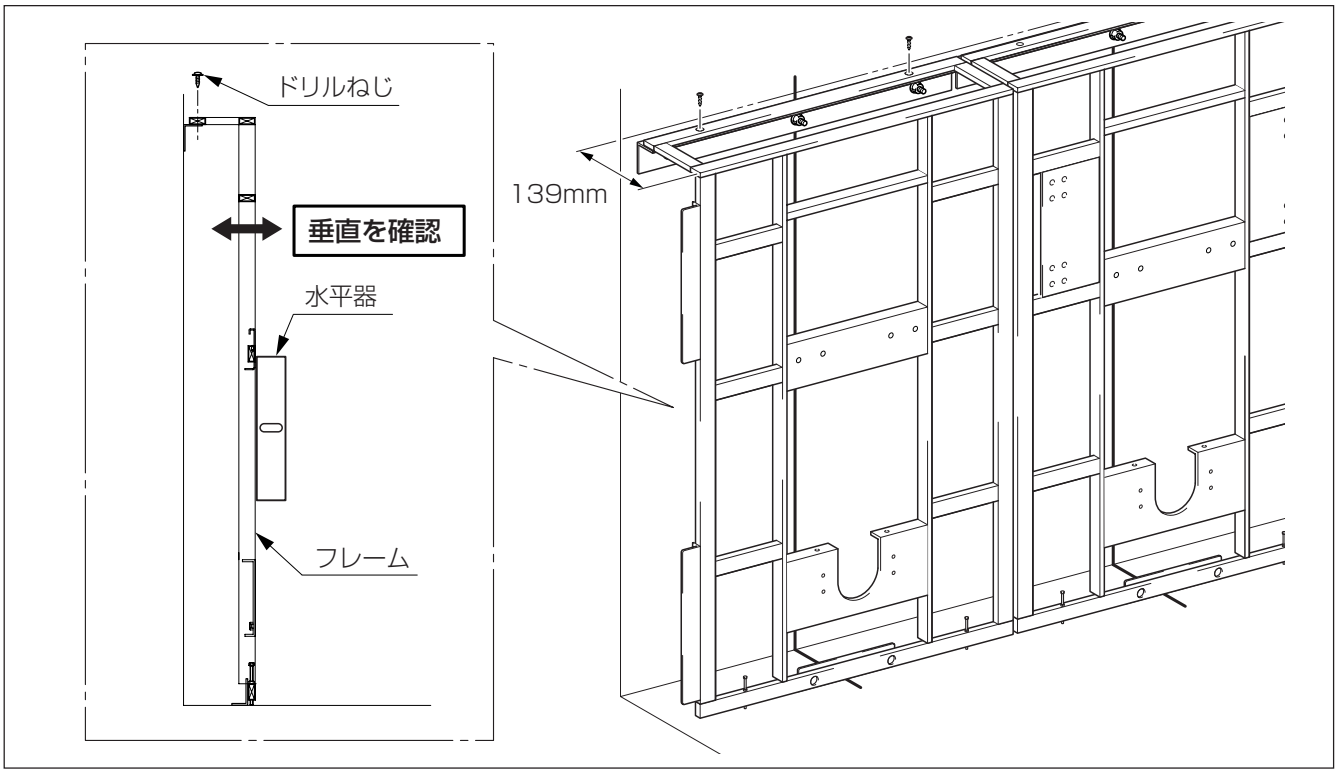
※調節後、ロックナットを必ず締め付けてください。

（3）下部を付属のドリルねじ（2本）で固定します。



（4）水平器でフレームのたおれがない事を確認します。

（5）上部を付属のドリルねじ（2本）で固定します。

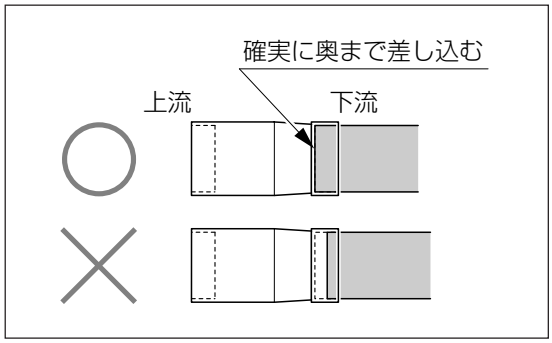


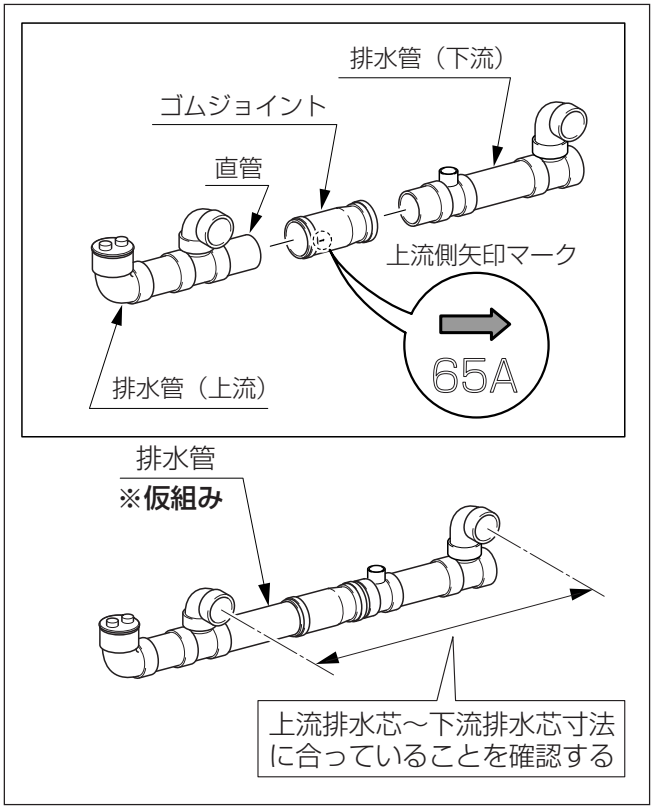
4．排水管の取付け

（1）排水管（上流）・排水管（下流）をいったんフレームの外でゴムジョイントで接続し、上流排水芯～下流排水芯寸法と合っているか確認します。

※ゴムジョイントには流れ方向矢印マークがありますので、上流、下流を正しくマークの通りに接続してください。

※排水管はゴムジョイントに確実に差し込ください。

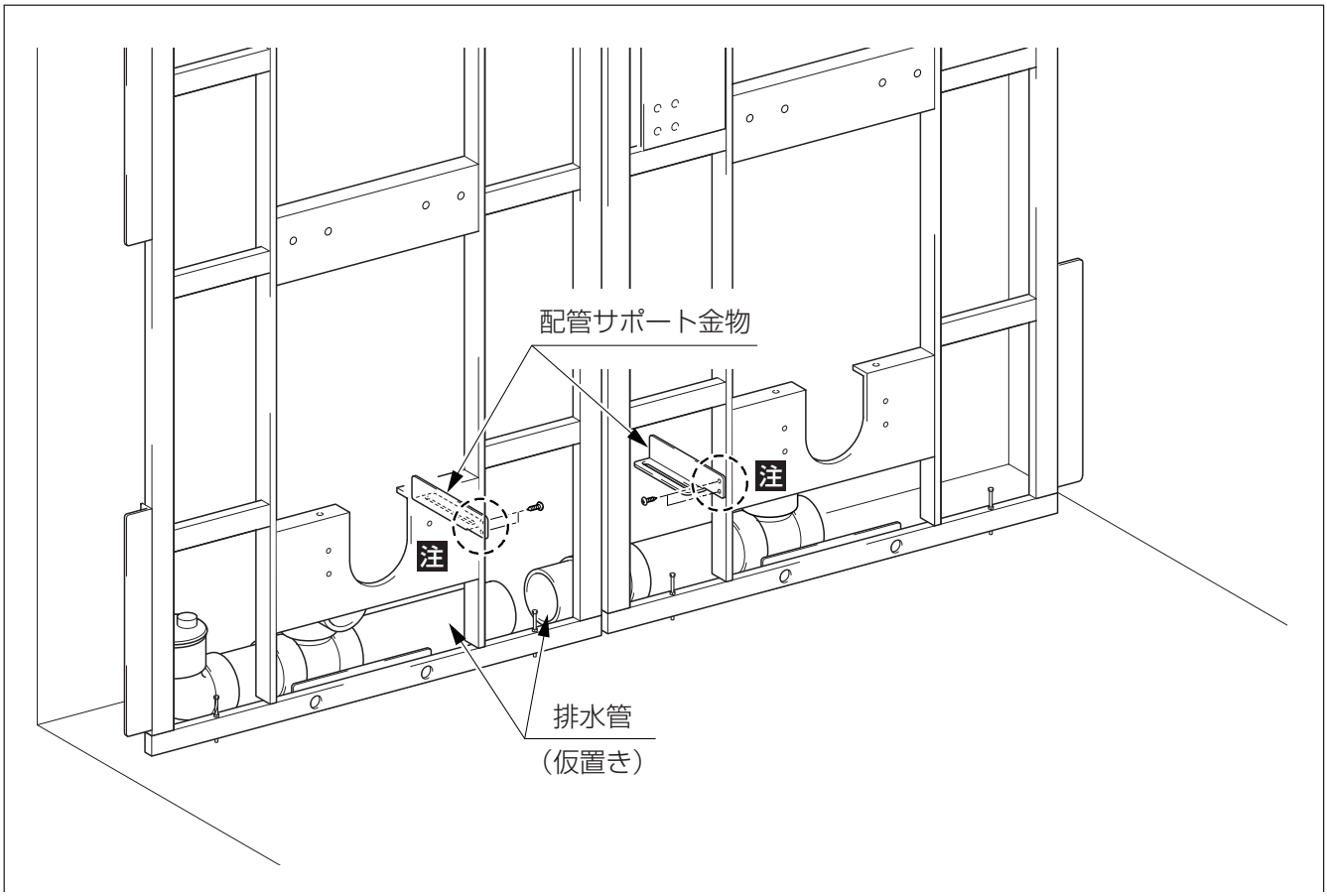




（2）ゴムジョイントを外し、排水管（上流）・排水管（下流）をそでぞれフレームの中に仮置きします。

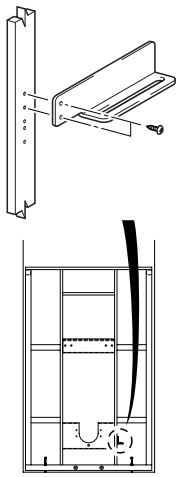
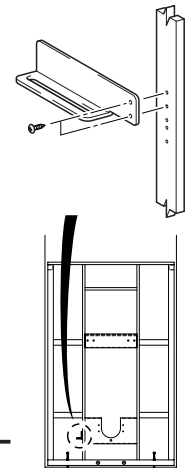
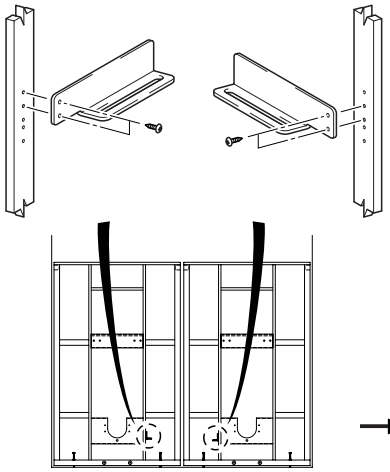
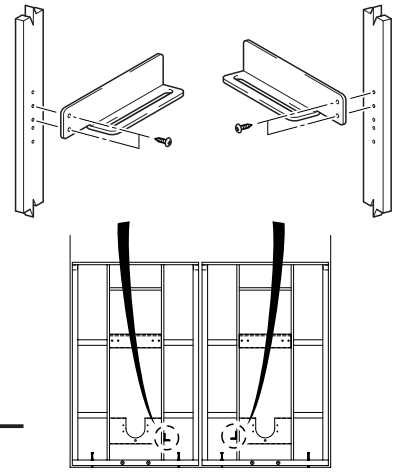
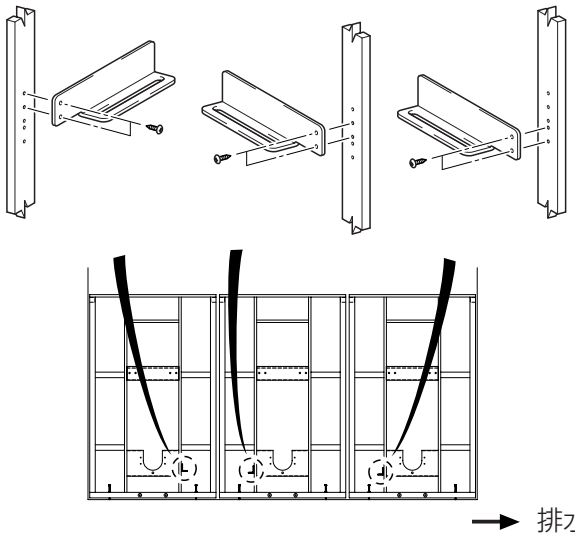
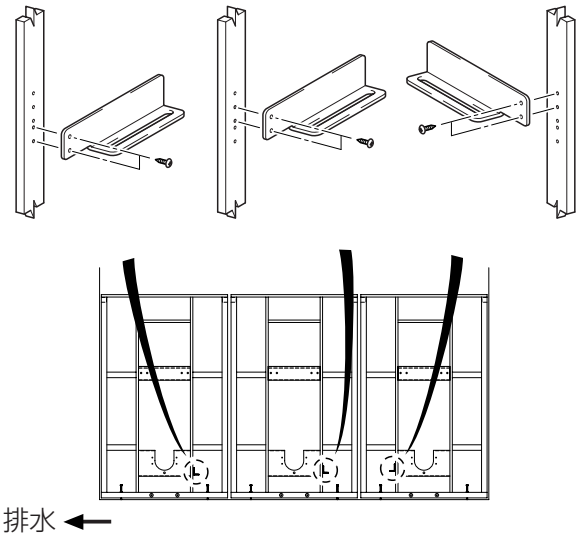
（3）フレームに配管サポート金物をタッピングねじで取り付けます（下穴あり）。

※このとき排水勾配が上流から下流へとなるように配管サポート金物の取付位置に注意してください（下図参照）。



次ページに続く

「配管サポート金物取付位置およびフレーム側下穴詳細」

右側が下流の場合	左側が下流の場合
1連  	1連 
2連  	2連 
3連  	3連 

排水管とフランジは接着前に必ず仮取付けして、正しく取り付くことを確認してください。

（4）排水管（上流）・排水管（下流）にそれぞれフランジを**仮取付け**します。
※この時点では絶対に接着しないでください。

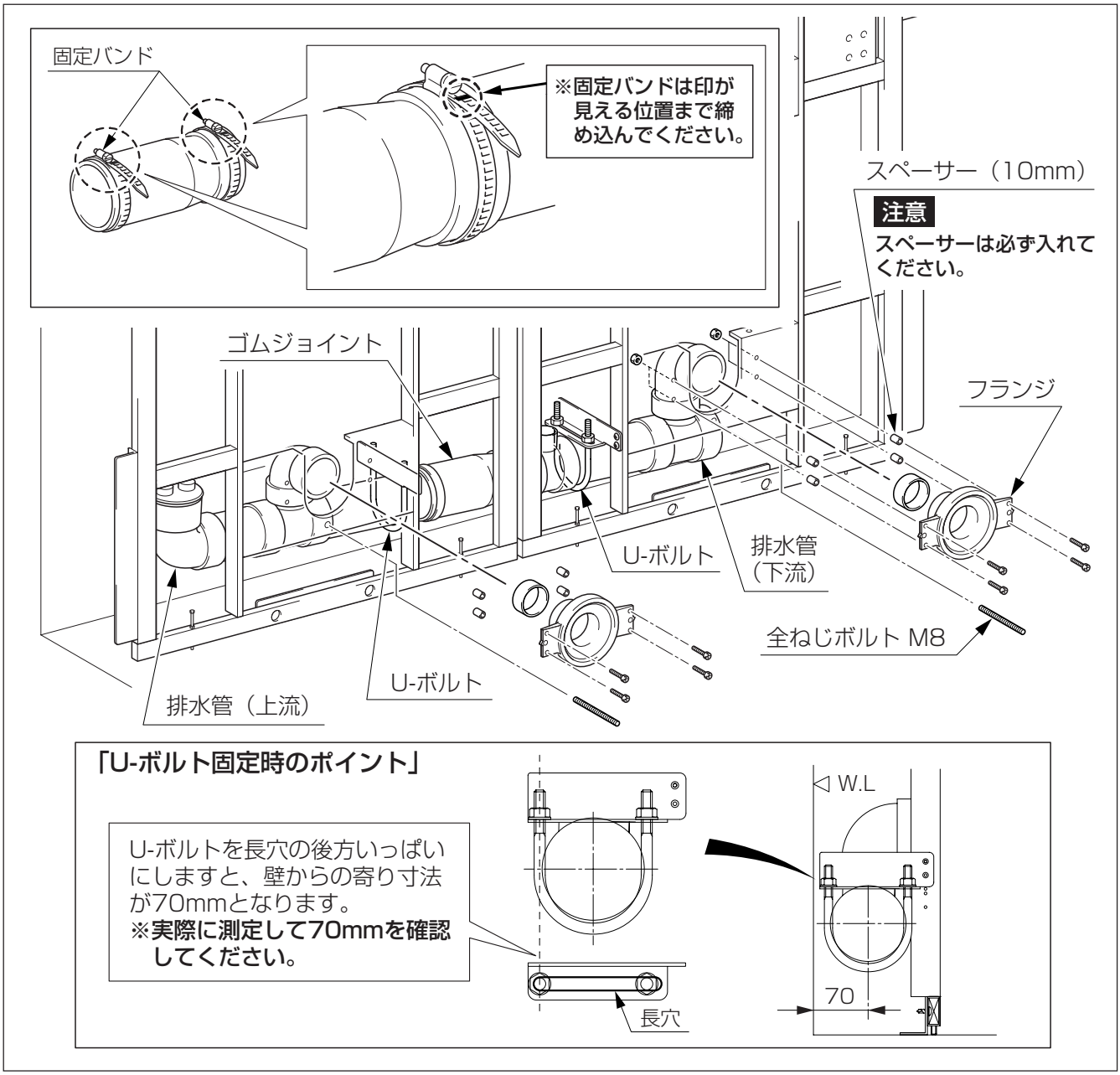
（5）排水管を配管サポート金物にU-ボルトで仮取付けし、ゴムジョイントで接続します。

アドバイス

※ゴムジョイントの接続は、排水管（下流）**から行うと作業がしやすくなります。**

（6）排水管が逆勾配になっていないことを確認してU-ボルトを本締めし、ゴムジョイントの固定バンドを締め付けます。
※固定バンドは印が見える位置まで締め込んでください。
※排水管の壁からの寄り寸法が70mmであることを確認してください。

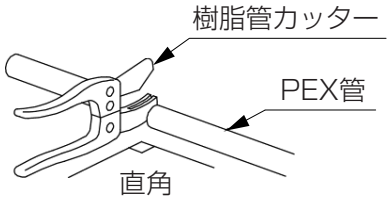
（7）フランジを排水管に接着し、フレームにボルトで固定します。
※フランジは傾いたりしないように正しく取り付けてください。
※フランジ固定ボルトには10mmスペーサーを必ず入れてください。
※小便器に付属の施工説明書とはフランジの取付方向が異なりますので注意してください。



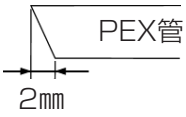
5．架橋ポリエチレン管の取付け

■架橋ポリエチレン管（以下PEX管）施工の注意事項

●PEX管を切断する際は、樹脂管カッターで直角に切断してください。



●PEX管の切断は2㎜以内とし、面取りはしないでください。



面取り

※面取りをすると、面取りした際の削りカスで漏水する可能性があります。
※PEX管の斜め切りが5㎜以上になりますと、漏水しますので絶対にしないでください。
※保温材部を切断するときは、管を傷つけないように注意してください。
※保温材部を切断するときは、カッターナイフでの切断はしないでください。

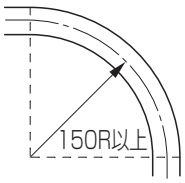
●切断時のヒゲ、バリなどは取り除いてください。また、切断部がつぶれてしまった場合や段切りになってしまった場合、ゴミやドロが付着した場合などは再切断してください。

• 段切り

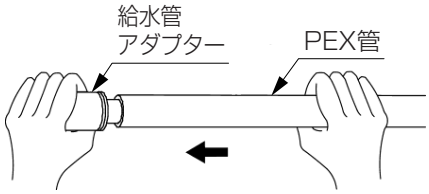
• ノコギリでの切断

• ヒゲ、バリ

●PEX管を曲げる場合は、最小曲げ半径150mmとしてください。

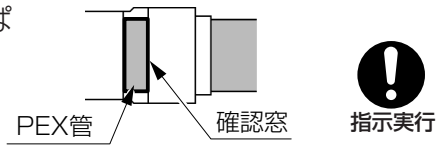


●PEX管と給水管アダプターとの接続は、ゆっくりとまっすぐに差し込んでください。

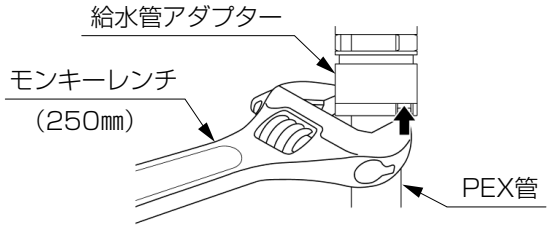


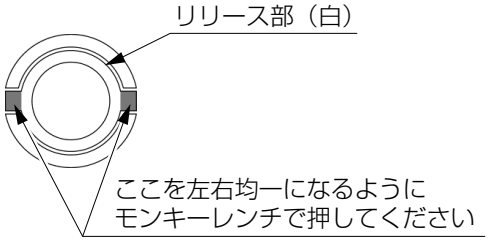
⚠注意

PEX管を給水管アダプターに差し込んだ後、確認窓いっぱいにPEX管が見えることを必ず確認してください。また、PEX管を引っぱって抜けないことを確認してください。
※完全に差し込まれていないと漏水します。



●PEX管を給水管アダプターから抜く場合は、モンキーレンチ（推奨サイズ：250㎜）等の工具でリリース部を押して、PEX管を抜くことができます。

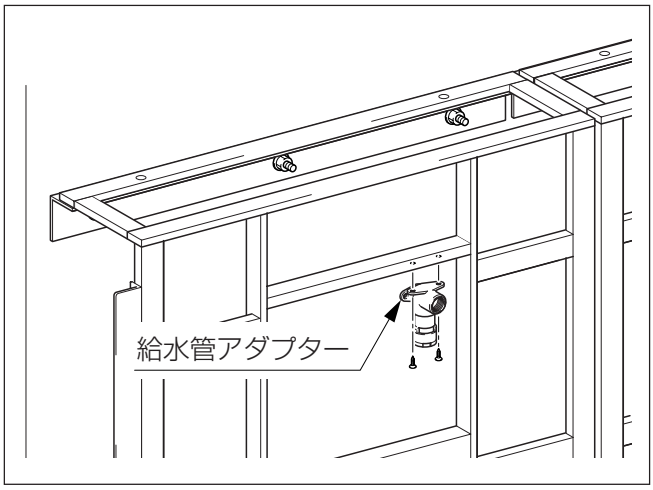




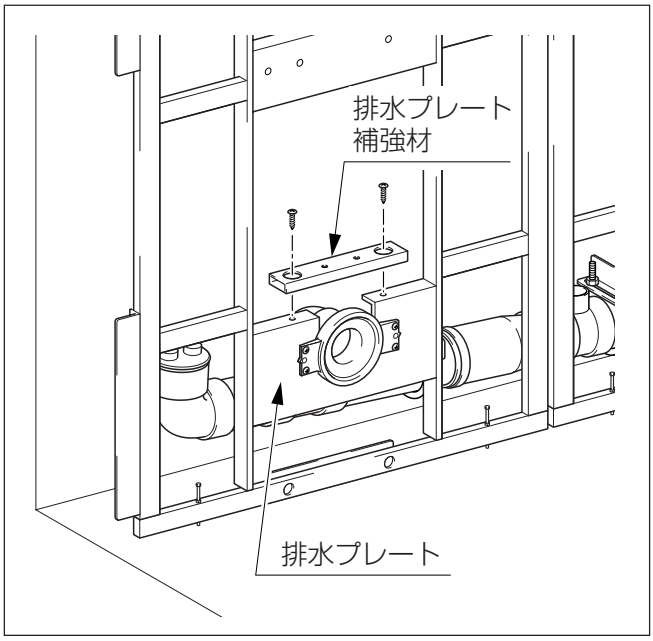
※注意：プライヤーはPEX管にキズをつける恐れがありますので使用しないでください。
※リリース部左右を均一に押さないと、PEX管は抜けません。

施工方法

（1）フレームに給水管用アダプターを付属のタッピングねじで取り付けます（下穴あり）。

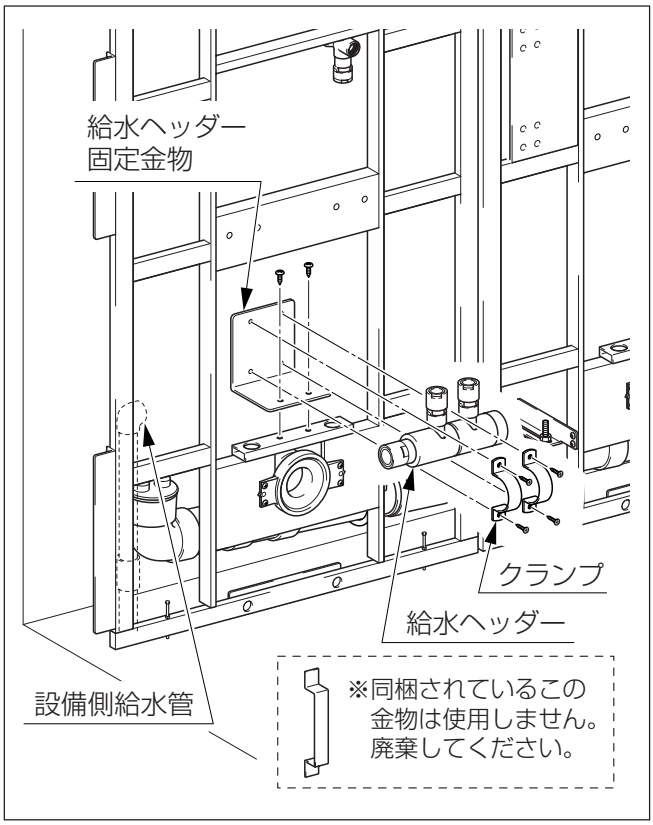


（2）フレームの排水プレートの上部に排水プレート補強材を付属のタッピングねじで取り付けます。

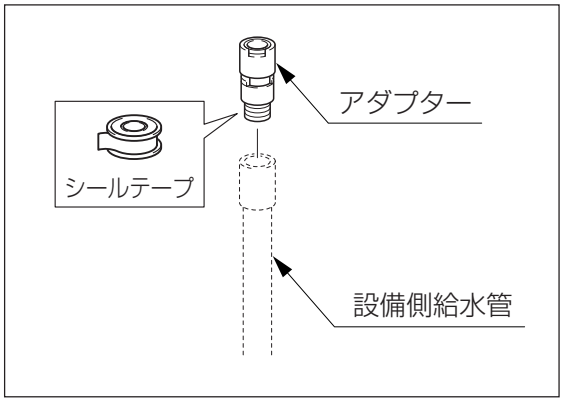


（3）設備側給水管側のフレームにヘッダー固定金物を取り付け、給水管に向かってヘッダーを取り付けます。（2連タイプ、3連タイプの場合）

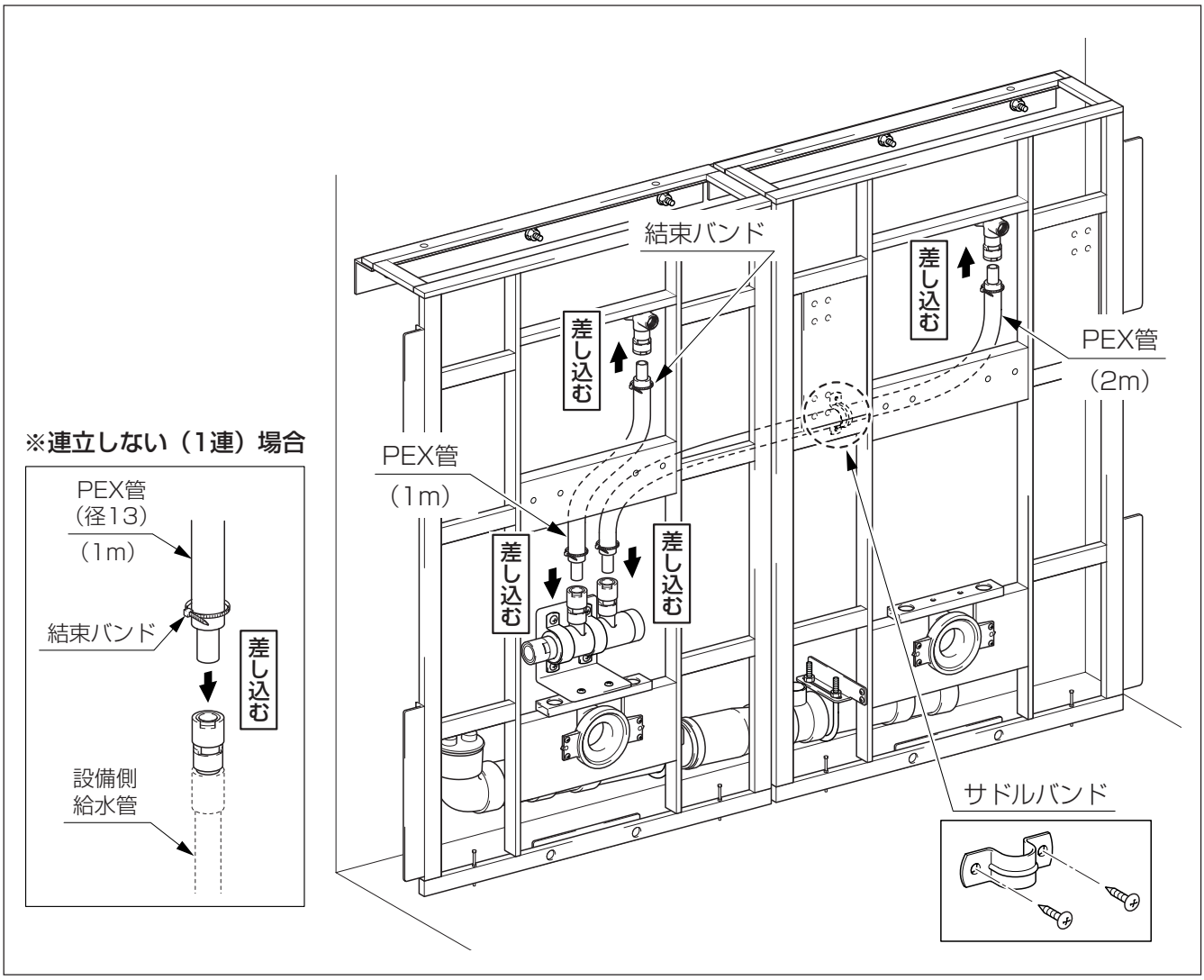
（4）給水ヘッダーをクランプで給水ヘッダー固定金物に取り付けます。（2連タイプ、3連タイプの場合）



※連立しない（1連）場合、設備側給水管にアダプターを取り付けます。



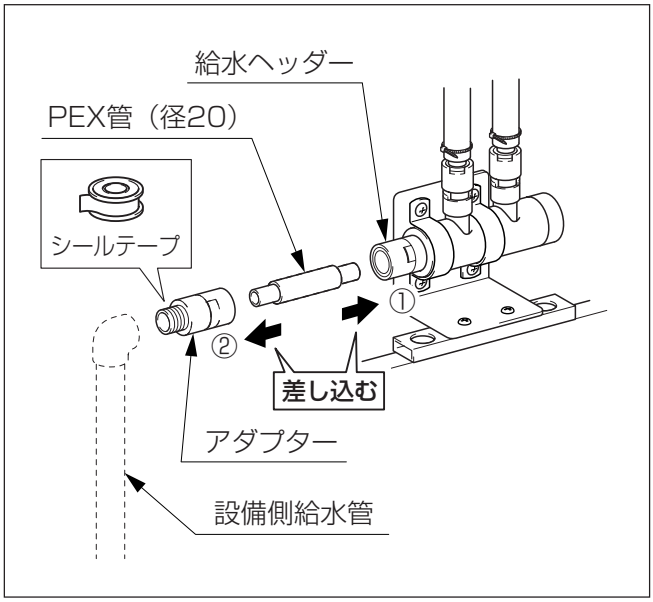
（5）PEX管を現場合わせで長さを決め切断します。
※PEX管は少し余裕を持たせ、短く切りすぎないように注意してください。
（6）PEX管をアダプターと給水ヘッダー間にそれぞれ差し込み接続し、PEX管の保温材両端を結束バンドで締め付けます。
（7）PEX管（2m）をサドルバンドで後壁に固定します。（ビスは取付壁に合うものを別途手配してください。）



（8）設備側給水管にアダプターを取り付けます。（2連タイプ、3連タイプの場合）
（9）アダプターと給水ヘッダー間の長さに合わせPEX管を切断し、差し込んで接続します。（2連タイプ、3連タイプの場合）

アドバイス

※PEX管は先にヘッダー側に差し込んでください。作業がしやすくなります。



6．巾木、底目地の取付け

※給排水の接続、通気管の接続が終わっていることを確認してください。

巾木、底目地を壁突き合わせで両面テープで貼り付けます。

●巾木の貼付け方

①金切りバサミで巾木を間口寸法－2mmに切断**（養生シートを切断部のみ剥がしてください）**します。

②フレームに両面テープを接着面のホコリや油分等をふきとって貼り付けます。

③巾木をフレームに貼付し、巾木の養生シートを剥がします。

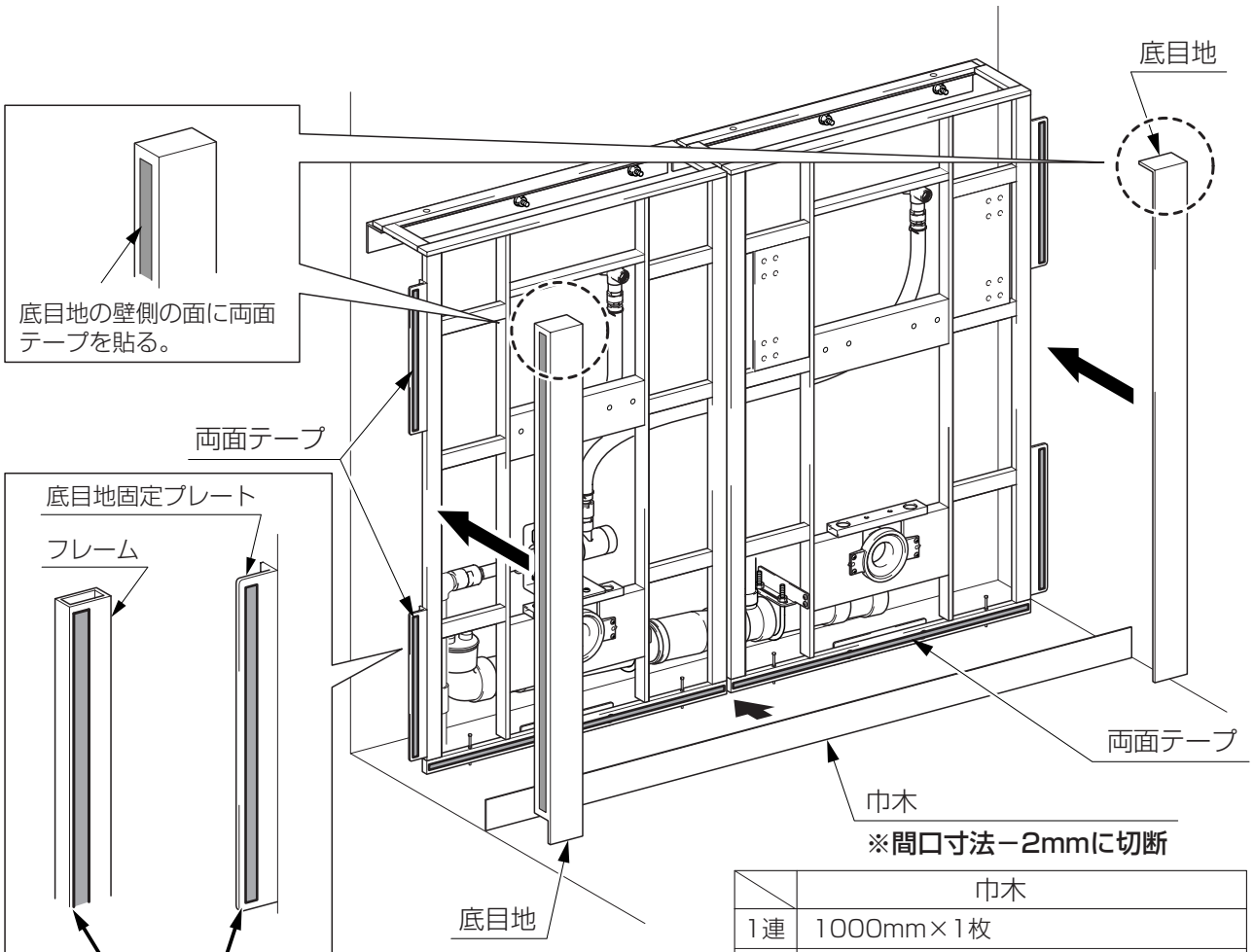
●底目地の貼付け方

①底目地の養生シートを剥がします。

②フレームまたは底目地固定プレートに両面テープを接着面のホコリや油分等をふきとって貼り付けます。

③底目地の壁側の面に両面テープを貼り付けます。

④底目地をフレームまたは底目地固定プレートおよび壁面に貼付します。



※間口寸法－2mmに切断

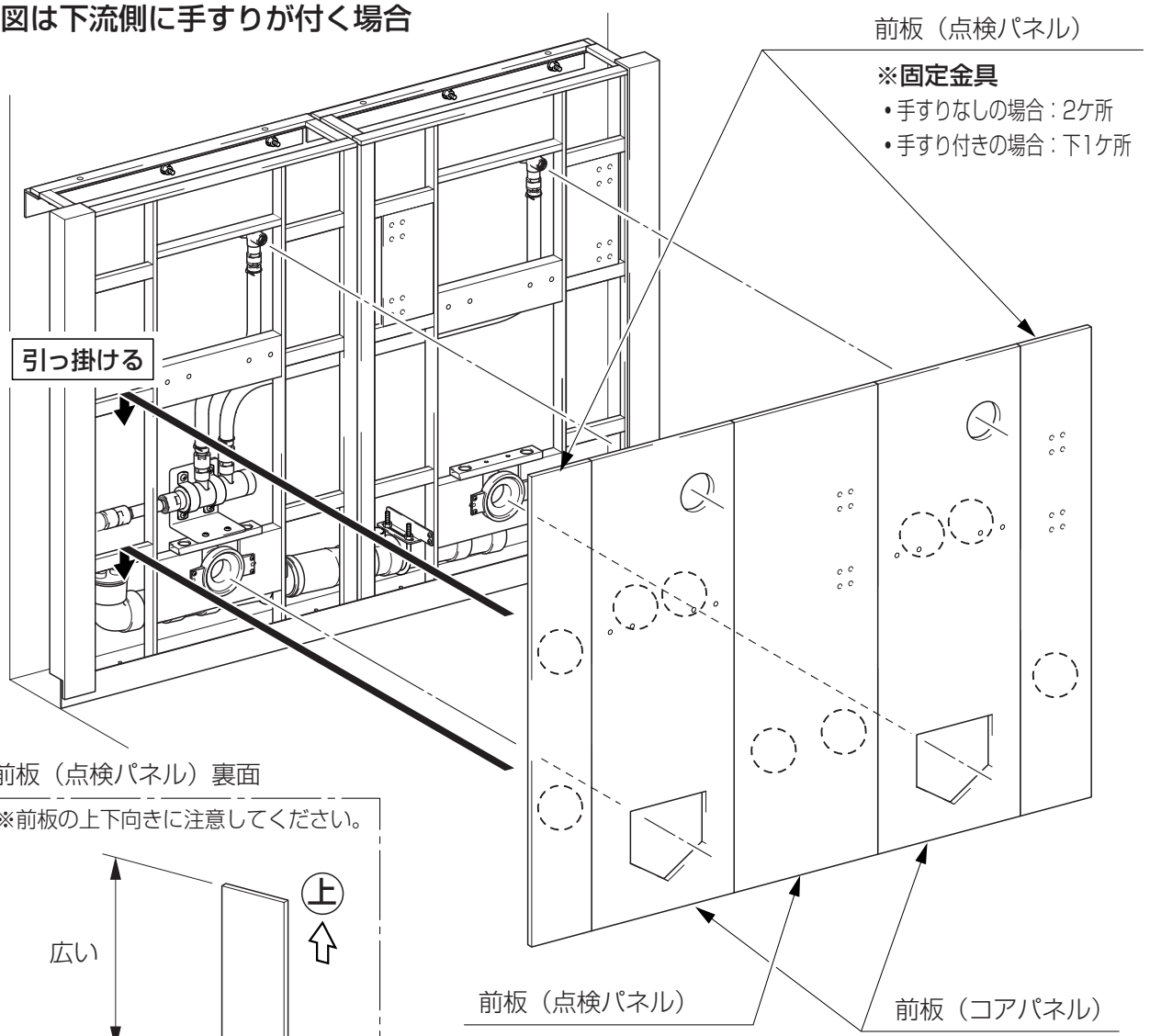
	巾木
1連	1000mm×1枚
2連	2000mm×1枚
3連	1000mm、1500mmの2種類が同梱されています。 間口寸法に合わせて1500mmを切断してください。

7．前板（コアパネル）、（点検パネル）の取付け

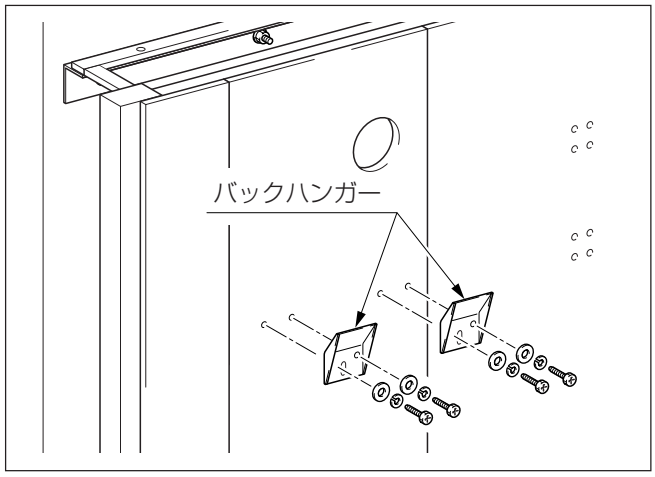
（1）前板の裏に前板固定金具を付属のタッピングねじで取り付けます。（下穴あり）
（2）前板の養生シートを剥がします。
（3）前板（コアパネル）を位置合わせをしながら、前板裏面の固定金具をフレームに引っ掛けて取り付けます。
（4）同様に左右および中央の前板を位置合わせをしながら、前板裏面の固定金具をフレームに引っ掛けて取り付けます。

※固定金具は、手すり付きタイプの場合、手すり固定位置と干渉するため、数が変わります。

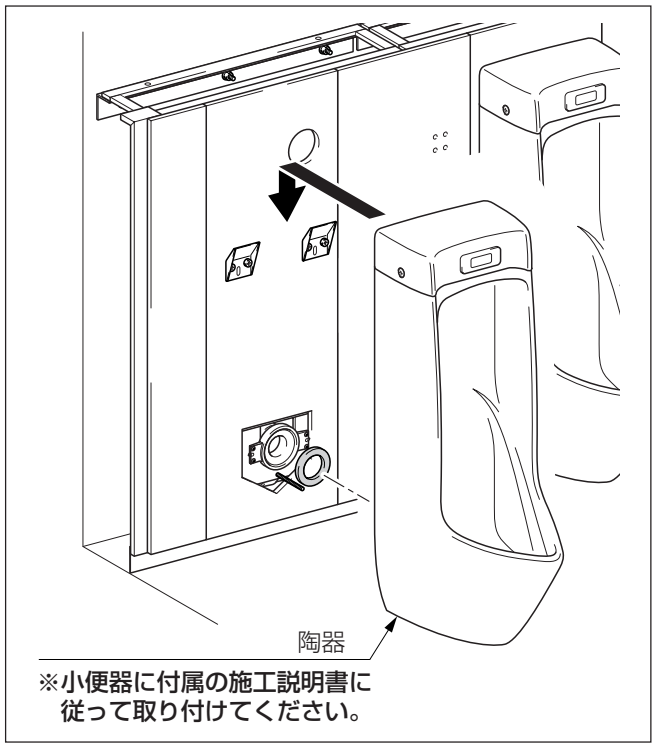
※図は下流側に手すりが付く場合



（3）前板（コアパネル）下穴を介してフレームにバックハンガーを付属の十字穴付き六角ボルト、スプリングワッシャー、ワッシャーで固定します。



（4）小便器を、センサー一体型ストール小便器に付属の施工説明書にしたがって取り付けます。



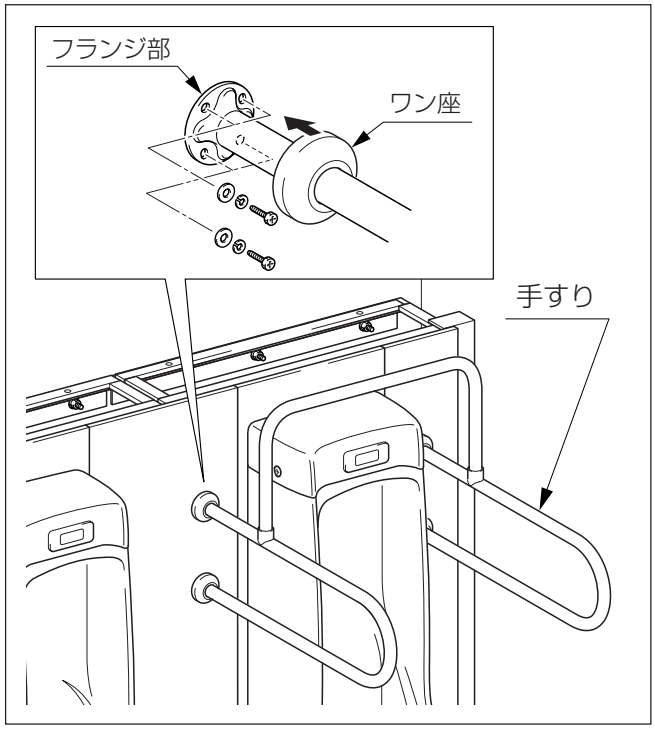
※小便器に付属の施工説明書に従って取り付けてください。

8．手すりの取付け（手すり付きの場合）

（1）現場で手すりを組み立てます。（手すりに付属の説明書を参照）

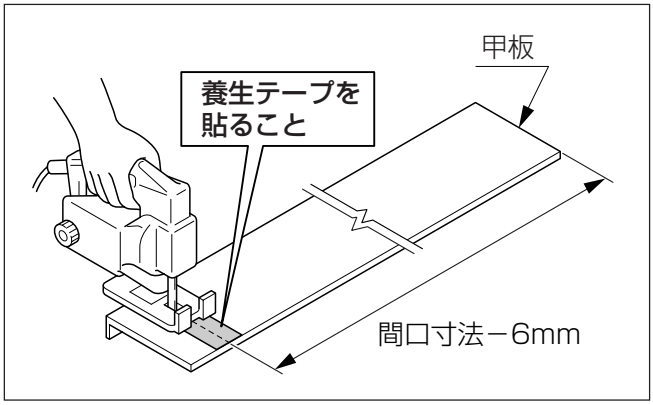
（2）前板（点検パネル）の手すり取付用下穴を介してフレームに手すりを付属の十字穴付き六角ボルト、スプリングワッシャー、ワッシャーで固定します。

（3）ワン座をスライドさせて、フランジ部にかぶせます。

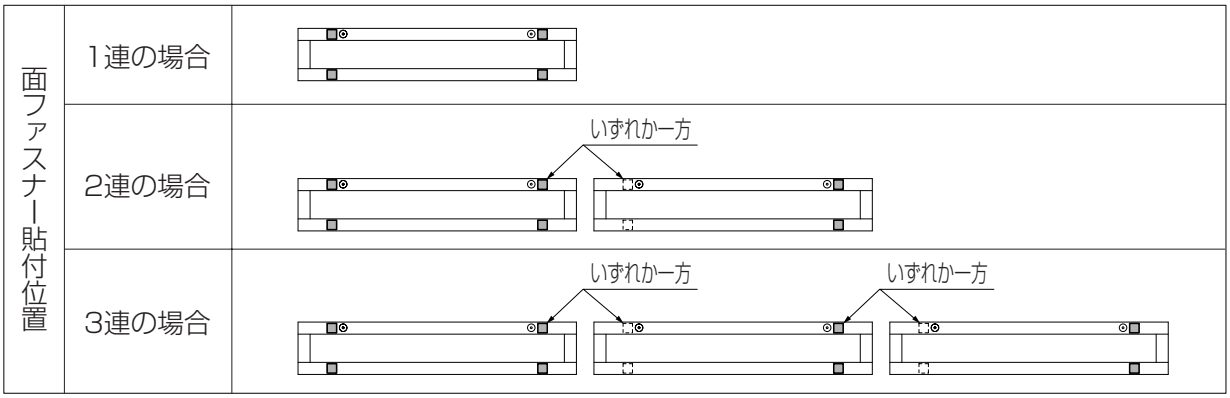


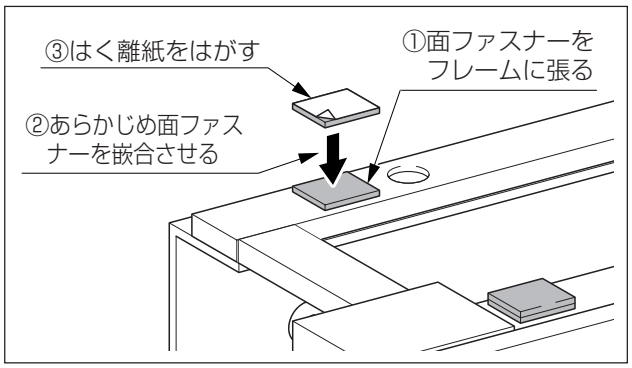
9．甲板の取付け

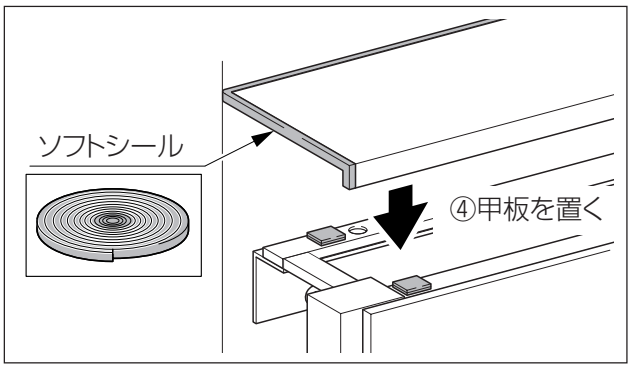
（1）甲板を間口寸法−6mmで切断します。
※養生テープを貼って切断してください。
※切断後、軸付砥石などで仕上げるときれいに仕上がります。



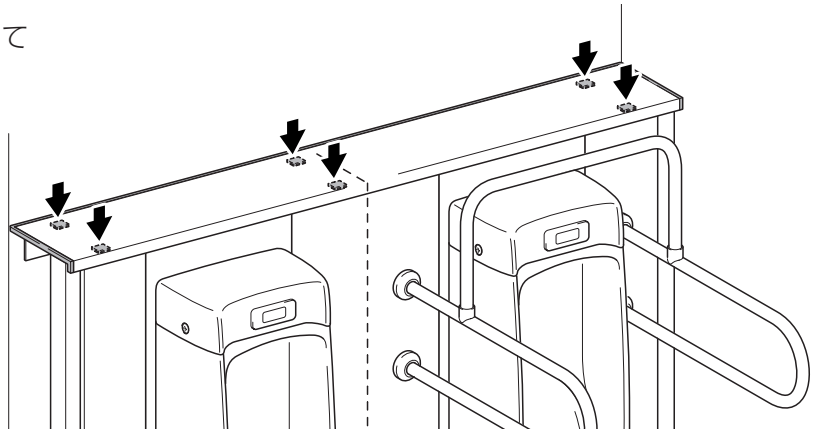
（2）甲板の側面と背面（後壁面側）にソフトシールを張り付けます。
（3）面ファスナー（25mm角）をあららじめ勘合させた状態でフレームに張り付けます。
（4）面ファスナーのはく離紙をはがし、甲板を位置を合わせながらフレーム上に置き、面ファスナーの上を軽く叩き接着固定します。
※接着面のホコリや油分等をふきとってから張り付けてください。



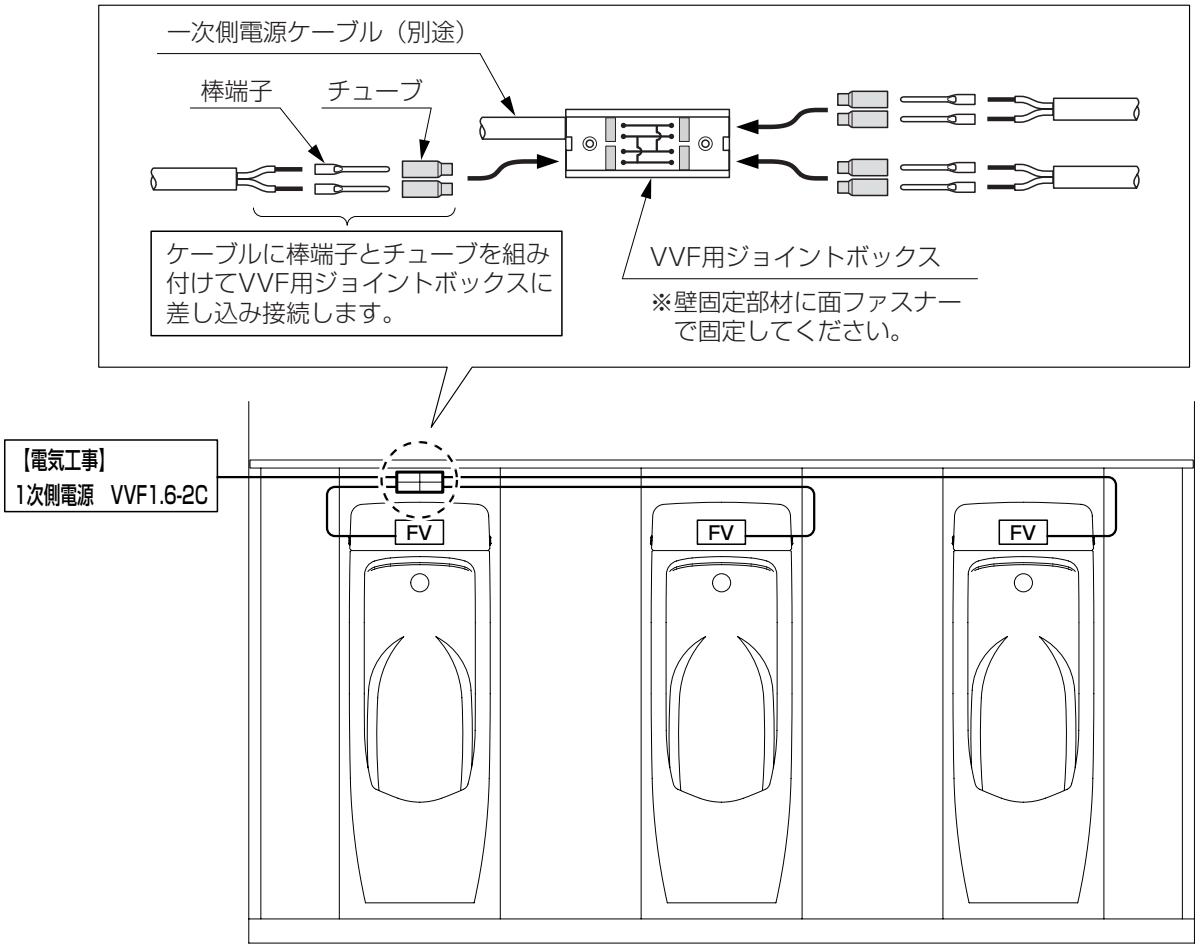




⑤面ファスナーの上を軽く叩いて
接着固定させる。



10．電源接続（100V式の場合）



●200V には接続しないでください。
●必ずアースを接続してください。
●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等にしたがって、必ず「法的有資格者（電気工事士）」によるＤ種接地工事（100 Ω以下）を行ってください。
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

指示実行

●小便器内部の配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。
●小便器内部の配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。
※感電や火災の原因となります。

禁止

11．漏水チェック

（1）通水し、漏水のないことを確認してください。
※通水の際は2名以上の人員を配置し、異常がある場合は直ちに元バルブを閉められるようにしてください。また、必ず通水試験を行うことを関係者に連絡し、了解をとってください。別のところでも工事を行っていて、配管が接続されていないこともあります。
※通水開始直後は、工事に伴い配管中に混入したゴミが流出してくる可能性があります。ストレーナーやバルブの止水面に付いたゴミは除去してください。
（2）電源も誤接続がないことを確認してから通電してください。（100V式の場合）

12．水勢調節・クリーニング

漏水チェック後、水勢調節・クリーニングを行ってください。
※調節は付属の小便器施工説明書の通りに行ってください。